

第20回

日本太鼓ジュニアコンクール

THE 20TH NIPPON TAIKO JUNIOR COMPETITION

第19回優勝チーム
和太鼓たぎり（福岡県）



日時：2018年3月25日(日)

開場9：30／開演10：00

会場：金沢歌劇座

（石川県金沢市下本多町6番丁27番地）

主催： [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主管：（公社）石川県太鼓連盟／日本太鼓財団石川県支部／北陸三県太鼓協会

特別協力：北國新聞社

後援：総務省／文化庁／石川県／金沢市／金沢市教育委員会／日本音楽財団／
（一財）石川県芸術文化協会／NHK金沢放送局／テレビ金沢／北陸放送／
金沢ケーブルテレビネット／エフエム石川／石川県観光物産館／金沢商工会議所

協賛： Supported by  日本太鼓財団 THE NIPPON TAIKO FOUNDATION

協力：（株）浅野太鼓楽器店



*会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。

ご挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

公益財団法人日本太鼓財団は、現在41都道府県に45支部が設立され、加盟団体数700チーム、会員総数2万人を数えております。

公益財団法人日本太鼓財団は本年度創立20周年を迎えました。これを記念し、昨年9月に東京都国立劇場において全国から15チームによる「日本太鼓全国フェスティバル」を開催、そして、11月には東京都浅草におきまして「日本太鼓財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバル『浅草太鼓祭』」を開催いたしました。日本財団をはじめ太鼓関係者や関係団体のご支援ご協力をいただき、盛況裡に無事終了することができました。

一方、海外においても、太鼓の演奏が「日本の心」を伝えるものとして高く評価され、財団設立以来47カ国で公演を行ってまいりました。なお、今大会にはブラジルジュニアコンクール優勝チーム「サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓」と、台湾ジュニアコンクール優勝チームの「安德笙太鼓團」が出場するのに加え、昨年に引き続き特別演奏としてアルゼンチンチーム「ブエノスアイレス太鼓」も出演、国際色豊かな大会となっております。

このように日本太鼓の人气が国内外において高まるなか、当財団といたしましても、さらなる日本太鼓の普及、振興を図るため、技術の向上、指導者の育成など様々な事業を積極的に実施していく所存であります。

本大会は、次世代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に、過去最多となる総勢536チーム5,704名が参加した予選を勝ち抜いた40都道府県及びブラジル、台湾代表の合計60チーム665名が、日頃の練習の成果を発表するコンクールであります。出場する皆さんは、成績のみにこだわることなく、日本太鼓を通じ、他人への思いやりや礼節を学ぶとともに全国各地の仲間と交流を図り、友好を深め、いつまでもそれぞれの胸に残るコンクールとなることを期待いたします。

おわりに、本大会の開催にご支援、ご協力いただきました石川県、金沢市、金沢市教育委員会をはじめとする関係各位、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の公益社団法人石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会の皆様に対し心からお礼申し上げます。

本日、ご来場いただきました皆様には、ジュニアによるひたむきで元気一杯の演奏による日本太鼓の魅力を最後までごゆっくりとお楽しみいただきたいと存じます。

ご祝辞



石川県知事

谷 本 正 憲

記念すべき20回目を迎える節目の年に、「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」が、石川県で開催されますことをお慶び申し上げますとともに、国内外からお越しいただきました皆様に心から歓迎いたします。

日本太鼓は、わが国の長い歴史の中で、人々の生活や風土によって育まれ、時代を超えて多くの人々に愛されてきた、世界に誇る優れた伝統音楽・伝統芸能であります。また、太鼓に向かう真摯な態度や演奏に必要なチームワークを学ぶことで、豊かな人間性が養われ、次代を担う青少年の健全育成にも極めて意義深いものと思います。

今回のコンクールでは、国内外からこれまでで最多の60チームが、技とチームワークを競い合うとお聞きしています。出演される皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮されますとともに、ここ石川の地で、全国の仲間と大いに交流の輪を広げ、素晴らしい思い出をつくられることを期待しています。

石川県では、石川の個性ともいえるべき豊かな文化の土壌にさらなる磨きをかけ、「文化立県・石川」の確たる地位を築いていくため、文化施策の充実に取り組んでいます。皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、石川県には、日本三名園の一つである兼六園や金沢城公園など加賀百万石の歴史や文化、霊峰白山や、世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする豊かな自然や新鮮な海山の幸などがあります。この機会に、本県の多彩な魅力を存分にご堪能いただければ幸いです。

最後に、本コンクールの開催にあたり尽力されました関係各位に深く敬意を表しますとともに、コンクールのご成功とご出演の皆様方の今後ますますのご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞



金沢市長

山 野 之 義

この度、「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」が、ここ金沢市で盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、地元市長として心から歓迎を申し上げます。

本コンクールは、次世代を担う子どもたちの健全育成と、日本太鼓の後継者育成を目指し、高校生以下の皆さんを対象に毎年開催される石川県発祥の、全国規模のコンクールであり、本市での開催は平成25年に続き2回目となります。

日本太鼓は、我が国伝統の楽器であり、その深遠な打音は、心にしみわたり、奏者の気持ちの高まりや息づかいが音となって聞く者の心を揺さぶり、深い感動を与えてくれるものであります。

出演される各都道府県代表及び海外から参加される皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮され、若さ溢れる熱演を大いに期待しております。また、チームとして息を合わせ、ひとつのことを成し遂げる大切さなど、日本太鼓を通じて学んだ貴重な体験や経験をこれからの糧としていってほしいと思います。

本市は藩政期以来の伝統文化や伝統工芸が、今も市民の生活の中に深く息づいており、受け継がれてきた伝統に誇りを持ちながら、金沢21世紀美術館に代表されますように、常に新たなものにも目を向け、革新の息吹を取り込み、新たな価値を創造してきた文化的土壌を持つまちです。今後とも本市のまちの魅力である本物の文化により一層磨きをかけ、発信に努めていく所存であります。

本市を訪れた皆様方におかれましては、ぜひ、まちを歩き、まちなかにある多くの文化芸術施設にも足をお運びいただき、本市の伝統文化とその背景の一端に触れていただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンクールのご成功と開催にご尽力されました日本太鼓財団、石川県太鼓連盟をはじめ、関係各位の皆様方の今後益々のご発展と更なるご活躍を心から祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

ご挨拶



日本太鼓財団 石川県支部 支部長
公益社団法人 石川県太鼓連盟 会長

田 中 秀 夫

公益財団法人日本太鼓財団の主催による「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」が、ここ石川県で第15回大会以来5年ぶりの開催にあたり、日本太鼓財団石川県支部を代表し、心より歓迎を申し上げます。

今年は、北陸を中心として、昭和56年の豪雪以来37年ぶりの大雪となり、全国の皆様から多くのお見舞いのお言葉を頂きました。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

石川県太鼓連盟が公益社団法人となって初めての開催となる、日本太鼓ジュニアコンクール全国大会も20回目を迎えました。第1回目の開催地は、私の地元でもあります川北町で行われ、当日は雪が降る大変寒い日となった事を思い出します。

第1回目は29都道府県34団体の参加でしたが今回は、台湾・ブラジルをはじめとし、過去最高の40都道府県の予選を勝ち抜いてきた60団体の参加となりました。又、アルゼンチンから参加して頂いたブエノスアイレス太鼓と、昨年度優勝チームの福岡県の和太鼓たぎりの特別演奏も行われます。

この大会は、古くから地域に伝わる伝統的で特色ある日本太鼓、そして新しく創作された創作太鼓など、次代を担う子供たちの健全育成と伝統文化としての日本太鼓の伝承と技術向上を目的としています。

出場されるチームの皆様は、日頃の練習の成果を発揮し、悔いのない演奏を期待し、会場のお客様には温かいご声援をお願いいたします。

結びに、本大会にあたりまして、ご後援を頂きました関係各位に心より感謝申し上げ、運営に携わりましたスタッフの皆様に御礼申し上げますとともに、ご来場のお客様のご健勝とご多幸をお祈りして、ご挨拶といたします。

ご挨拶



北國新聞社

社 長 温 井 伸

「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」が、5年ぶりに石川県で開催されることとなり、ご出演の62チーム、約700人の皆さまを心より歓迎いたします。

日本太鼓ジュニアコンクールは、石川県と非常に縁の深い大会です。1999(平成11)年の第1回大会は、川北町で開催され、約3千人の歓声を受けて、地元小松市の「共栄太鼓風雅」が初代チャンピオンに輝きました。その後の第2回大会、そして、節目の第10回大会や第15回大会も石川県で開催され、今回で全国最多の5度目の開催となります。

石川県では太鼓文化の普及に合わせ、1985(昭和60)年に県太鼓連盟が発足し、1996(平成8)年に社団法人化、2013(平成25)年には公益社団法人に移行されました。伝統的な和太鼓の発掘や保存はもとより、青少年の健全育成や国際親善にも積極的に取り組まれ、石川が誇る芸能文化の継承、発展を支えていただいております。

今大会には、海外からブラジルと台湾、アルゼンチンのジュニアチームも参加しており、和太鼓が国境を越えて、世界に広がっていることを実感させてくれます。出場されるチームの皆さまには、活気あふれる演奏を期待し、ご来場の皆さまには、子どもたちのひたむきで気迫に満ちた姿に、惜しみない拍手と声援を送っていただければ幸いです。

本公演の開催にあたり、ご尽力賜りました関係各位に心より感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

審査委員紹介



岡田 知之

(公社)日本吹奏楽指揮者協会会長

1960年東京芸術大学音楽学部卒業、NHK交響楽団打楽器奏者を92年まで勤め定年退職。67～68年NHK交響楽団派遣によりベルリン研修。東京芸術大学講師、国立音楽大学講師・助教授・教授、洗足学園音楽大学教授・学部長を歴任。

現在、NHK交響楽団理事。(公社)日本吹奏楽指導者協会会長。

音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員長。

洗足学園音楽大学名誉教授。岡田知之の打楽器合奏団主宰。

文化庁芸術祭優秀賞、第15回音楽之友社賞受賞。

著書：「打楽器事典／音楽之友社」「ティンパニ教本／音楽之友社」

「小太鼓100曲集／共同音楽出版社」

執筆：「ニューグローブ世界音楽大事典／講談社」「新編音楽中辞典／音楽之友社」等の打楽器項目。



喜多郎

演奏家

1980年、NHK制作のドキュメンタリー番組「シルクロード」の音楽を担当し、その感動的なテーマ曲は喜多郎の代表作の1つとなる。

1985年、米国ゲフィンレコードから6枚のアルバムがリリースされると喜多郎の音楽に魅せられるファンが世界で急増。1993年、「Heaven&Earth」でゴールデングローブ賞作曲賞受賞。1994年、米国Domo Recordsと契約。2001年には「Thinking of you」でグラミー賞を獲得した。

2001年のアメリカ同時多発テロをきっかけに、世界平和の祈りを込めて四国遍路八十八カ所の鐘を収録し、それらをモチーフとして楽曲を制作するという『空海の旅』プロジェクトを開始。自身のライフワークとして、現在88番寺までの曲の完成を目指している。

2007年には中国映画の巨匠チャン・イーモウ監督の水上オペラで音楽を担当し、オリジナルサウンドトラック「Impressions Of The West Lake」が2010年のグラミー賞にノミネートされた。また、すずきじゅんいち監督の日系史映画「Toyo's Camera」「442」MISへも楽曲を提供し、サウンドトラックをリリース。2007年から開始した「Love & Peace World Tour」では、2010年までに10カ国18公演を実施、世界中へ感謝と祈りのメッセージを伝えている。

2014年に始めたSymphonic World TourでLive録音した「Kitaro Symphony Live in Istanbul」が16回目のグラミー賞にノミネートされた。

世界でもっとも高い評価を受けている日本人アーティストの一人である。



塩見 和子

(公財)日本太鼓財団理事長

1965年国際基督教大学(ICU)教育学部(構造言語学を専攻)在学中より、同時通訳として活躍する。卒業後も、政治、経済、金融、医学等の技術分野において日本で初めての女性日米同時通訳グループを結成し、活躍を続ける。

1968年アメリカ国務省、カナダ政府と契約して、政府交渉及び国際会議等の同時通訳としてアメリカを中心に国際的な活動の場を広げる。

1979年帰国し、世界最大・最古のオークション会社サザビーズの日本代表に就任する。

1989年サザビーズジャパンの社長に就任し、美術品オークション制度や、日本でのサザビーズの名を定着させた。1991年サザビーズロンドン本社経営委員会のメンバーに就任、1992年退社。

1997年財団法人日本太鼓連盟の副会長、2003年に理事長に就任、2012年4月公益法人化に伴い公益財団法人日本太鼓財団に名称変更後も理事長に就任、現在に至る。また、日本音楽財団の会長としても活躍している。

著書としては、1992年「いい女、いい仕事」(主婦と生活社)、1994年「女ひとり世界の歩き方」(講談社)がある。



鈴木 恭介

邦楽家

国立音楽大学卒業。在学中に若山胤雄氏に笛、太鼓、舞を師事。同時期に助六太鼓保存会に入門。現在重要無形民俗文化財江戸里神楽若山社中の囃子方、舞い方として、神田明神、浅草神社、日枝神社等で奉奏する他、TV(NHK古典芸能番組)、舞台(国立劇場)、海外公演(2016年ドイツ、ブルガリア)等で活動している。又日本民族舞踊団、太鼓集団天邪鬼、ケニー遠藤太鼓アンサンブルの一員として国内外の公演に多数参加。

海外公演は1976年のアメリカ建国200年祭を初めに30ヶ国、40回を数える。主な公演は1988年ユーロパリア・ジャパンベルギー公演、フランス公演、1997年、2011年、2017年のNATC北アメリカ太鼓カンファレンス等、又「恭の会」を主宰し後進の指導に当たる他アメリカで定期的にワークショップを行っている。

元国立音楽大学講師、よみうり文化センター産経学園各講師、恭の会代表。



長谷川 義

(公財)日本太鼓財団副会長

(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

大分県由布市を拠点として1979年に「豊の国 ゆふいん源流太鼓」を発足し、以来代表として活躍している。源流太鼓の原点は、由布岳の山境、塚原峠から湯布院盆地へ毎夜響き渡る太鼓のリズム。町の中心部にある金鱗湖から湧き出た温泉が源流になり、小川になり、やがて大河となるように日本、そして世界へ故郷の音として響いてゆく。鍛え上げられた心と肉体…一打で大地を激震させ、一打に人生のすべてをかける。『ゆふいん源流太鼓』…それは男たちの魂のリズム。その原点を忘れずに、日本各地はもとより世界各国で公演し、日本の文化を発信している。

1993年、全九州太鼓連合を発足、会長に就任。

1998年、財団法人日本太鼓連盟(現在の公益財団法人日本太鼓財団)理事に就任、2008年に副会長となり現在に至る。

2011年、第8回日本太鼓シニアコンクール名人位。



古屋 邦夫

(公財)日本太鼓財団 技術委員会委員長

(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

1948年9月14日岡谷市に生まれる。

1967年6月御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓暦51年を数える。

1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。

1978年10月長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。

1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2千人太鼓等の指導を行った。

2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。

2015年、第12回日本太鼓シニアコンクール名人位。

現在、(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長として活躍している。



山田 正俊

(一社)日本マーチングバンド協会公認指導員

石川県生まれ

東京芸術大学音楽学部 打楽器科別科修了

打楽器アンサンブル、吹奏楽、オーケストラ等の演奏活動を行う。

国民体育大会、インターハイ、全国植樹祭、全国育樹祭等の式典指導の他、全国のマーチングバンドの指導や大会の審査、編曲、ショーデザインを行っている。

現在、日本マーチングバンド協会北陸支部長。石川県マーチングバンド協会理事長。

一般社団法人日本マーチングバンド協会公認指導員。



渡辺 貞夫

演奏家

1933年宇都宮生まれ。高校卒業後に上京、秋吉敏子のコーギー・カルテットをはじめ数々のバンドに参加。パークリー音楽大学への留学等を経て、日本を代表するトップミュージシャンとして、ジャズの枠に留まらない独自のスタイルで世界を舞台に活躍。2005年“愛知万博”では世界中から集まった子供達400人と、国境や文化を越えた歌とリズムの共演という長年の夢を実現させ、それらの活動は海外へ広がる。近年は国立音楽大学の招聘教授として次世代の育成にも力を注いでいる。2017年10月、NY録音のジャズアルバム『Re-Bop』、バッハのスペシャリストとして名高い小林道夫氏(pf)と2000年に共演したサントリーホールでのライブ盤『Plays Bach』を同時に発表。国内のみならず、海外に於いても精力的に演奏活動を行う生涯現役プレイヤーのその姿は、世界中の老若男女に勇気と感動を与えている。

<http://www.sadao.com/>

第20回日本太鼓ジュニアコンクール・プログラム

■ 開会式

■ 演 奏

第 1 部 10 : 45

- | | | |
|--|-------|----|
| 1. 和太鼓 風
Wadaiko Nagi from Chiba | 千葉県 | 11 |
| 2. 糸島二丈絆太鼓
Itoshima Nijyo Kizuna Taiko from Fukuoka | 福岡県 | 11 |
| 3. 鷹座巢 鼓組
Takazasu Kogumi from Yamanashi | 山梨県 | 12 |
| 4. 三代目源流少年隊
Third generation Genryu Shonen-tai from Oita | 大分県 | 12 |
| 5. 輪島・和太鼓 虎之介
Wajima Wadaiko Toranosuke from Ishikawa | 石川県 | 13 |
| 6. 別所ともえ太鼓会ジュニアチーム
Bessho Tomoe Taiko Junior Team from Hyogo | 兵庫県 | 13 |
| 7. 厚別本陣はまなす太鼓
Atsubetsu Honjin Hamanasu Taiko from Hokkaido | 北海道道央 | 14 |
| 8. 手取亢龍若鮎組
Tedoru Koryu Wakaayu-kumi from Ishikawa | 石川県 | 14 |
| 9. 信濃国松川響岳太鼓子供会
Shinanonokuni Matsukawa Kyogaku Taiko Junior Team from Nagano | 長野県 | 15 |
| 10. 関西福祉大学金光藤蔭高等学校 和太鼓部 “鼓響”
Kansai University of Social Welfare Konkotoin High School Taiko Club “Kokyo” from Osaka | 大阪府 | 15 |
| 11. 響座 いなせ組
Hibikiza Inase-kumi from Mie | 三重県 | 16 |
| 12. 沼垂小学校万代太鼓 鼓助
Nuttari Elementary School Bandai Taiko Kosuke from Niigata | 新潟県 | 16 |
| 13. 江別見晴台鼓楽会 豊太鼓
Ebetsu Miharashidai Koraku-kai Yutaka Taiko from Hokkaido | 北海道道央 | 17 |
| 14. 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組
Iwashironokuni Koriyama Uneme Taiko Kowaka-kumi from Fukushima | 福島県 | 17 |
| 15. 本陣太鼓
Honjin Taiko from Ibaraki | 茨城県 | 18 |
| 16. おおむら太鼓連くじら太鼓
Omura Taikoren Kujira Taiko from Nagasaki | 長崎県 | 18 |
| 17. 高倉薬太鼓
Takakura Hikobae Taiko from Miyagi | 宮城県 | 19 |
| 18. 風天太鼓保存会 雅風童
Futen Taiko Gafudo from Saga | 佐賀県 | 19 |
| 19. 大和の響き・京
Yamatonohibiki “Kyo” from Kyoto | 京都府 | 20 |
| 20. 日南太鼓衆「爽空」
Nichinan Taiko-shu “Sora” from Miyazaki | 宮崎県 | 20 |

課題曲：『啓 開』
作 曲：長谷川 義

第 2 部 13 : 30

21. 橋本流みゆき太鼓 Hashimoto-ryu Miyuki Taiko from Hokkaido	北海道道南	21
22. 永山屯田太鼓 Jr. 翔 Nagayama Tonden Taiko Junior Team “Sho” from Hokkaido	北海道道北	21
23. 火の神乙女太鼓 爽 Hinokami Otome Taiko “So” from Kagoshima	鹿児島県	22
24. 神洲八幡巫太鼓 Shinshu Yahata Kannagi Taiko from Fukuoka	福岡県	22
25. 尾張新次郎太鼓保存会 Owari Shinjiro Taiko from Aichi	愛知県	23
26. 駒王太鼓 嵐 Komao Taiko “Arashi” from Saitama	埼玉県	23
27. 東京都立美原高等学校 和太鼓部 Mihara High School Taiko Club from Tokyo	東京都	24
28. 上石津もんでこ太鼓保存会「結」 Kamiishizu Mondeko Taiko “Yui” from Gifu	岐阜県	24
29. 菊陽武蔵剣豪太鼓 Kikuyo Musashi Kengo Taiko from Kumamoto	熊本県	25
30. 大和太鼓保存会 鼓天童子 Yamato Taiko Kotendoji from Saga	佐賀県	25
31. 学校法人沼津学園 飛龍高等学校 和太鼓部 Hiryu High School Taiko Club from Shizuoka	静岡県	26
32. 北海道くしろ蝦夷太鼓ジュニア Hokkaido Kushiro Ezo Taiko Junior Team from Hokkaido	北海道道東	26
33. 太鼓研修センター「響」 Taiko Training Center “Hibiki” from Miyazaki	宮崎県	27
34. 宇都宮和太鼓四面会 青龍組 Utsunomiya Wadaiko Shimen-kai Seiryu-kumi from Tochigi	栃木県	27
35. 赤平火太鼓保存会 Akabira Hi-Taiko from Hokkaido	北海道道西	28
36. 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部 Hitsuyukan High School Taiko Club from Kumamoto	熊本県	28
37. 越中いさみ太鼓保存会 春蘭 Etchu Isami Taiko Shunran from Toyama	富山県	29
38. 海老名東柏太鼓 Ebina Tohaku Taiko from Kanagawa	神奈川県	29
39. 和太鼓集団 響屋ジュニア Otoya Junior Team from Kagawa	香川県	30
40. 人吉ねぶか太鼓 Hitoyoshi Nebuka Taiko from Kumamoto	熊本県	30

第3部 15:45

41. やまばと太鼓 Yamabato Taiko from Akita	秋田県	31
42. 諫早天満太鼓 Isahaya Tenman Taiko from Nagasaki	長崎県	31
43. 橘太鼓「響座」ジュニア Tachibana Taiko “Hibikiza” Junior Team from Miyazaki	宮崎県	32
44. 奥州水沢 颯人和太鼓乃会 Jr. Oshu Mizusawa SATZ Wadaiko-no-kai Junior Team from Iwate	岩手県	32
45. 広島山陽学園 山陽高等学校 和太鼓部 山陽太鼓 “弾” Hiroshima SANYO High School Taiko Club Sanyo Taiko “Dan” from Hiroshima	広島県	33
46. あくね毘沙門太鼓響流ジュニア Akune Bishamon Taiko Koru Junior Team from Kagoshima	鹿児島県	33
47. 奈良県立奈良朱雀高等学校 和太鼓部 和太鼓秋篠 Nara Suzaku High School Taiko Club Wadaiko Akishino from Nara	奈良県	34
48. 明德義塾中学高等学校 和太鼓部 太鼓衆魅鼓 Meitoku Gijuku Junior and Senior High School Taiko Club Taiko-shu Miko from Kochi	高知県	34
49. 掛合太鼓ジュニア Takeya Taiko Junior Team from Shimane	島根県	35
50. 和太鼓 鼓一 Wadaiko Koichi from Tokyo	東京都	35
51. 静岡県立伊豆総合高等学校 郷土芸能部 Izu Sogo High School Kyodo-geino Club from Shizuoka	静岡県	36
52. 松川一の宮太鼓 はな組 Matsukawa Kazunomiya Taiko Hana-kumi from Iwate	岩手県	36
53. ハッ杉太鼓 遊心 Yatsusugi Taiko Yushin from Fukui	福井県	37
54. 太鼓道場風の会ジュニア Taiko Dojo Kaze-no-kai Junior Team from Yamagata	山形県	37
55. 児島瑜伽太鼓 Kojima Yuga Taiko from Okayama	岡山県	38
56. 上州榛東ふるさと太鼓 Joshu Shinto Furusato Taiko from Gunma	群馬県	38
57. あそびっ鼓組 “遊” Asobikko-kumi “Yu” from Aomori	青森県	39
58. 金沢学院高等学校 和太鼓部「暁」 Kanazawa Gakuin High School Taiko Club “Akatsuki” from Ishikawa	石川県	39
59. サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓 São Miguel Arcanjo Colonia Pinhal Hisho Taiko from Brazil	ブラジル	40
60. 安德笙太鼓團 Andersen Taiko from Taiwan	台湾	41

特別演奏

ブエノスアイレス太鼓 Buenos Aires Taiko from Argentina	アルゼンチン	42
和太鼓たぎり Wadaiko Tagiri from Fukuoka	福岡県	43

■表彰式

■閉会式

*コンクールの出場順番は、公正を期すため去る2018年1月12日(金)に開催された財団の第60回運営委員会並びに第61回技術委員会において抽選を行い決定したものです。

*コンクールの優勝チームは、次回コンクール(2019年3月24日(日)福島県郡山市)で特別演奏を行うことになっておりますので次回の本大会には出場できません。

審査要領

本コンクールの審査については、公益財団法人日本太鼓財団が定める「日本太鼓ジュニアコンクール開催要領」に基づいて行なわれます。

第7条 コンクールの審査は、基準に基づいて厳正に行い、その運営も公正でなければならない。

2 審査方法は、次のとおりとする。

- (1) 審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、原則として、5名以上10名以内とし審査委員長1名を選任する。
- (3) 審査委員は、当財団会長が委嘱する。
- (4) 審査委員長は、予め審査員と会議を持ち、審査要領及び審査基準等の打合わせを行う。
- (5) 審査委員は、採点表（別表）に従い各項目を採点する。
- (6) 審査の対象は、課題曲並びに自由曲とする。

3 審査基準は、次のとおりとする。

- (1) 課題曲と自由曲を含め5分以内とし、太鼓の打ち始めから打ち終わりまでとする。なお、演奏時間を超過した場合は失格とする。この場合、担当者3名以上を置き計時する。
- (2) 台詞、歌、伴奏の楽器による演奏は演奏時間にはいるものとする。
- (3) 演奏は、伴奏を含めて生演奏とする。
- (4) 審査の採点は、100点満点制とする。
- (5) 審査項目は、次の5通りとする。
 - ① 礼節・衣装
しっかりした挨拶、身のこなし、太鼓に向かう毅然とした態度か、また、太鼓演奏にふさわしく衣装が青少年らしいかをポイントにする。
 - ② 構え・打法
腰を落とした安定ある姿勢、体全体で打ち込んでいるか、また、バチさばきと振り、正確な打法、太鼓本来の音が出ているかをポイントにする。
 - ③ 演奏技術
演奏技術が身についているか、その技術レベルが高いかをポイントにする。
 - ④ 音楽表現
曲想に合った演奏（強弱・速度等）とのバランス及び、笛、鉦等との調和がとれているかをポイントにする。
 - ⑤ チームワーク
チーム全体が意気のあった演奏をしているかをポイントにする。

第20回日本太鼓ジュニアコンクール出場団体紹介

1 わ だい こ なぎ 和太鼓 凧

千葉県



演奏曲

ぎょく と
玉 兎

代表者: 君塚 かよ子

川崎 大 / 安藤 美波
君塚ゆり佳 / 松崎 宗
山田 恕士 / 鈴木 志音
中村 かな実 / 内田 裕介

私たち「和太鼓 凧」は、房総半島の東南に位置する「いすみ市」を中心に、地域の祭礼やイベント等での演奏を主体として活動しています。

演奏させていただく自由曲は「玉兎」です。歌舞伎舞踊「玉兎」の舞のように月の中で影勝団子をつく所作や狸退治する立ち回りをイメージしています。天に突上げる打法は躍動感あふれる兎の様子を表現しました。

いつも応援してくださる皆さんに、感謝を込めて、仲間を信じ、自分を信じ、常に私達の「心は一つ」であることを胸にいだきながら、魂を込めて演奏します。

2 いと しま に じょうきずな だい こ 糸島二丈絆太鼓

福岡県



演奏曲

ちく ぜん い と こく
筑前伊都國

代表者: 田中 茂雄

小林 大起 / 守田 沙弥
木下 華七 / 山崎 未央
中田いこい / 火山翔弥斗
中村 祐則 / 岩永和佳南
重富 和楽 / 平山 竜大
金丸 蘭 / 守田 柚月
中西 昂流 / 南坂 和成
上林山遥希

糸島市は福岡県福岡市と佐賀県唐津市の間にあり、自然豊かな地域です。日本最大の銅鏡「内行花文鏡」が発見されるなど、古代は大陸との玄関口として、また、江戸時代には筑前藩（黒田藩）として博多文化を福岡と共に育んできた地域でもあります。糸島二丈絆太鼓は糸島市観光大使に任命され、青少年の健全育成事業として日本太鼓の活動を行っております。本日演奏します「筑前伊都國」は弥生の時代より続く自然の中で、糸島が歩んできた歴史、そして色々なシーンで取り上げられる元気のよい糸島の姿を描いた楽曲です。本日も一生懸命演奏しますので、よろしくお願いいたします。

3

たか ざ す こ ぐみ 鷹座巢 鼓組

山梨県



演奏曲

まい
舞

代表者: 深沢 俊司

志村 勝／蔵屋 息吹
有泉 心渚／安岡 大河
神田 優雅／安岡 心結

私達は、山梨県の鷹座巢山に見守られた富士川町で平成11年に発足した「まほらの郷 鷹座巢小林八幡太鼓」のジュニアチームです。

「鷹座巢 鼓組」が全国大会という夢の舞台に立つことができたのは、太鼓ができる環境と、大人の方の指導、衣装を手作りしてくれた保護者、地域の方々の温かい応援があったからだと思います。

演目の「舞」では、一人一人が雅やかに煌めいて、共鳴しあい、太鼓の響きが更に大きな舞となるように、心をひとつにして輝きます。和太鼓をとおした人と人とのつながりに感謝し、仲間と一緒に打ち込む「舞」が郷土の人々の心に残り、伝承されていくように一打に願いを込めて演奏します。

4

さん だい め げん りゅうしょう ねん たい 三代目源流少年隊

大分県



演奏曲

てん ち げん りゅう
天地源流

代表者: 城内 三美

長谷川 凌／阿部 結菜
嘉手川みなせ／迫 芽吹
阿南 晴大／藤田 桜
本田 真子／高森 唯
高森 雄太

三代目源流少年隊は、平成27年文化庁伝統文化親子教室事業の「太鼓教室」として発足しました。

由布市無形文化財「ゆふいん源流太鼓」の指導を受けています。

「使わない鉄がさびるように活動しないことは知性を損なう」を心がけ、人として心を磨くことも日々指導していただいています。

少年隊は、「はい」という素直な心「ありがとうございました」という感謝の心を忘れず、これからも活動していきます。

すべての物・事・人に感謝して、本日「天地源流」を打ちます。この舞台にたてることは私たちの目標ですが、更なる高見をめざして精進していきます。

5

わ じま わ だい こ とら の すけ
輪島・和太鼓 虎之介

石川県



演奏曲

こ ころ
鼓 心

代表者: 今井 哲也

二木	輝尚	／	免坂	優香
宮下	華鈴	／	川端	彩乃
大端	愛美	／	川端	光月
沖崎	陽鞠	／	大積	紅愛
大積	聖愛	／	吉浦	寧々
大端	遼			

私共は、石川県輪島市に、伝統の祭り太鼓を基本とし、和太鼓の「新しい風を」との思いで、平成12年に結成しました。

地元の伝統のお祭りのお囃子から、和太鼓、本来の音色を引出し、打ち込みたいとの思いを込めて作った曲です。

私共なりに、能登らしさを忘れずに今回の曲で、和太鼓が大好きなメンバーが一丸となり、練習の成果を発揮し上位入賞を目指したいと思います。

6

べっ しょ だい こ かい
別所ともえ太鼓会ジュニアチーム

兵庫県



演奏曲

ゆう つづ
夕 星

代表者: 前田 千春

谷口	翔大	／	陣内	駿
杉山	千尋	／	大谷慎太郎	
八木	大輝	／	澤木	香鈴
森下	大樹	／	前野	透哉
西川	源馬	／	財津	龍靖
前野	風琉	／	中村	愛佳

私たち別所ともえ太鼓会ジュニアチームは神戸市の北西に位置する三木市を拠点に活動しています。

太鼓を打つことの喜び、和太鼓の奥深さ、仲間との絆、家族からの支え、人との出会い、思いやり、感謝、感動、忍耐などを五感全体で体験し、『太鼓を打つ』ということから多くのことを学んでいます。

演奏曲『夕星』は夜空にひときわ光り輝く金星の如く、どのような環境においても一人一人が生き生きと希望に満ち溢れた明るい未来が訪れることを願った曲です。

“ともえ”らしさが大舞台で出せるよう精一杯演奏します。

宜しく願い致します。

7

あつ べつ ほん じん

だい こ

厚別本陣はまなす太鼓

北海道道央



演奏曲

ほつ きょう

北 響

代表者：山森 満雄

河原 涼太／大前 楓季

谷 郁果／倉田 捺那

倉田歩乃羽／土井 麻緒

土井 葵誠／木村 康誠

大前 日菜

厚別本陣はまなす太鼓は、平成5年に地域の皆様の応援により誕生し、その年に地元厚別陸上競技場で「はまなす国体」が開催されたことから、その名をとり、「はまなす太鼓」と名づけられました。

その後皆様に支えられながら、創立25年を迎えることができました。メンバーも子供を主体とし大人との混合で活動しています。

これまで主に福祉施設への慰問の他、地域のイベント等へ参加し、これらの活動を通して、青少年育成に努めております。

今後も日々練習を重ね技術向上に励み、皆様に愛される会になれる様に努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく、お願い致します。

8

て どり こう りゅう わか あゆ ぐみ

手取亢龍若鮎組

石川県



演奏曲

て どり むし おく

手取の虫送り

代表者：田中 秀夫

山先 勇也／吉野亜里咲

佐野 遥実／原田 恵実

山先 柚芽／新田くるみ

吉野 宏孝／助田 佳蓮

山本 脩矢

手取亢龍若鮎組は、小中学校の生徒を対象とした青少年講座「太鼓教室」の受講生と、手取亢龍太鼓保存会員の子ども達で、保育園児から高校生までの幅広いメンバーで平成10年に結成しました。

古来より、地域に伝わる「虫送り太鼓」のリズムを基本として創作、川北町の自然や文化を表現しています。

現在は、幼児から高校3年生までの17名の会員で活動しています。地元川北まつりを始め、各種イベントに多数出演、ろう学校の皆さんとの交流を始め、ボランティア活動などにも積極的に参加をしています。

4回目の全国優勝を目指して、練習に励んで来ました。

9

しな のの く に まつ かわ きょう がく だい こ こ ども かい
信濃国松川響岳太鼓子供会

長野県



演奏曲

け しん
化心

代表者: 仲川 達也

横澤 麗李	佐藤 愛美
寺嶋 綺華	千野 歩果
奥原 一貴	門松 慎吾
密澤 晴哉	横澤 朱旺
渡辺 愛奈	奥原 健太
郷津 祐月	覚田 愛深
三澤 柊太	羽田 遥
猪狩ひなの	

信濃国松川響岳太鼓子供会は1986年(昭和61年)、雄大な北アルプス、そして安曇野のシンボルである有明山の麓「松川村」で、太鼓の音が“山の峰々まで響け”そんな願いを込めて「響岳」と命名され発足した当会と同時に誕生しました。御諏訪太鼓宗家、故小口大八氏、御諏訪太鼓会長、古屋邦夫氏に師事し、昨年、結成30周年を迎えることができました。今後も、地域創造活動グループとして太鼓を打ち鳴らしていきます。本日演奏する曲は「化心」です。人間の心の中にある怒り、悲しみ、喜び、様々な感情を般若の面で表情を隠し、太鼓の音と動きで表現した響岳太鼓の代表曲であります。

10

かん さい ふく し だい がく こん こう とう いん こう とう がっ こう わ だい こ ぶ こ きょう
関西福祉大学金光藤蔭高等学校 和太鼓部 “鼓響”

大阪府



演奏曲

えん ば
炎馬

代表者: 中山 幸二

上森 勝道	高柳 希望
高柳 宇宙	藤谷 大地
西村 悠慎	西谷 真琴

関西福祉大学金光藤蔭高校は大阪市にある学校で、和太鼓部は創部18年目を迎えました。和太鼓部の“鼓郷”という名前には、私たちの太鼓に対する熱い思いが、太鼓の音のように遠くまで、心の奥底に響き渡ってほしいという願いが込められています。また、「こきょう」という音は「ふるさと」という意味の「故郷」にもつながっており、ふるさとの懐かしさや安らぎを感じられるような温かさと、ふるさとの山のように頑として動かない力強さの両面を持ち合わせた太鼓打ちとして、舞台に立ちたいという気持ちも同時に込められています。私たちは、この“鼓響”という名前の由来を大切に、よりいっそう精進を積み重ねたいと思っています。

11 ひびき ざ ぐみ 響座 いなせ組

三重県



演奏曲

あさ ひ
旭 陽

代表者: 松本 征之

松本康太郎／川田 琴未
大西 克／高橋 愛加
中西 悠太／芦田 雄飛
川田 雄大／山岸 翼
井上 咲季／大西 悠菜
高橋 愛翔／中 梨桜
井上 瑞貴／山岸 隼人

青少年育成の一環として2003年に「響座いなせ組」を結成。

地元松坂市の三大祭をはじめ、各地イベントや太鼓フェスティバルへの参加を中心に活動しています。日本古来の和太鼓演奏を通しての自己研鑽はもとより、独自の創作演奏にチーム一丸となって取り組んでいます。

演奏曲「旭陽」は時を越え、悠久に輝き降り注ぐ旭陽の力強さと、未来を見据え着実に歩み進める私たちの姿とを重ね、その情景を太鼓の響きで表現しています。

ここを一つに、一打一打想いを込めて演奏します。

12 ぬつ たり しょう がつ こう ばん だい だい こ こ すけ 沼垂小学校万代太鼓 鼓助

新潟県



演奏曲

みなとだい こ そろ う
港太鼓／おけさ揃い打ち

代表者: 菊池満里子

菊池菜々子／吉川 朋花
渡辺 清楽／井田 恵那
田中 心／本間 友
水科菜々美／佐藤 碧
阿部 好花／渡辺 滯羅
高橋 明里／小田 心菜
丸田 真緒／南 統子
森平 芽吹

万代太鼓は2018年に創立50周年を迎えます。その一員である鼓助は、新潟市立沼垂小学校に在籍する児童で構成されています。

現在は、3年生から6年生の男子1名、女子20名の総勢21名で活動しています。

週2回、学校の音楽室で練習を重ね、地域のイベントやお祭りでの演奏のほか、福祉施設を慰問するなどして、たくさんの方々に万代太鼓の素晴らしさを伝えています。

毎年11月に、約15団体が参加して開催される『万代太鼓フェスティバル』では、小中学生が主体となる団体を対象に審査選考が行われ、3賞が授与されます。鼓助が2016年の最高賞に続き、2017年も3賞のうちの一つを獲得しました。

13

え べつ み はらし だい こ らく かい ゆたか だい こ 江別見晴台鼓楽会 豊太鼓

北海道道央



演奏曲

ほう こう
咆 哮

代表者: 谷口 美幸

檜山梨々花／及川 彩

渋谷 実里／石川 祥

檜山菜々花／後藤美咲樹

郡司 香風／藤巻 花音

及川 真歩

原生林と石狩平野にいだかれた北海道江別市。

その中心部に有りながら、札幌市を一望できる丘の上に見晴台があります。

豊太鼓は、その見晴台自治会育成部によって、平成元年「青少年の育成と、伝統文化の継承」を目的として結成され、地域に愛され続けてきました。

平成19年には、自治会から独立し、現在は2歳から大人まで50名まで以上の大家族が、楽しく腕を磨き、全道各地で、時には道外でも、精力的に演奏活動をしています。

来年には、設立30周年記念公演『打って打って打ちまくる4』を開催する予定です。

14

いわしろの くに こおり やま たい こ ほ ぞん かい こ わか ぐみ 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組

福島県



演奏曲

うね め いの
采女の祈り

代表者: 吾妻 五子

添田 はな／鈴木 海斗

鈴木 風伽／池上野乃花

阿部 茉弥／鈴木 志温

小林 依吹／伊東 春奈

川崎 瑞歩／檜村茉莉亜

小林 依織

私達の住む郡山は、将来都市像「人と環境のハーモニー魅力ある町郡山」を目指し「音楽都市」を宣言している市です。郡山市では、毎年8月に「郡山うねめまつり」が行われており、10尺太鼓や子ども山車、踊り手が一体となって夜のひとときを楽しんでいます。

本日演奏する曲は、地元郡山で語り継がれている「うねめ物語」を題材に読んで感じたことをかきあげ、歌で表現してみました。

小若組は学校の週休2日制の導入に伴い平成13年にうねめ太鼓保存会の下部組織として誕生しました。「礼に始まり、礼に終わり、楽しく元気よく！」をモットーに活動しています。これからも感謝を忘れずに、心をひとつにして演奏したいと思います。

15

ほん じん だい こ 本陣太鼓

茨城県



演奏曲

せん じん
閃 陣

代表者: 福崎美由紀

先崎 晴琉／見當 遥紀

森田 丞／野澤 結太

野澤 美結／平野 瑛士

平成17年子育て中の主婦と子ども達で立ち上げた太鼓の会です。会主の生まれ故郷の風物詩『青森ねぶた祭り』で演奏される出陣太鼓と進行の調べを太鼓演奏の入り口とし習得しつつ、それ以外は主に創作太鼓を演奏しています。『本陣』の名前にはこのねぶたの陣頭陣地と、皆の心の拠り処となる『我が家』のようでありたい、という意味が込められています。

近隣地域の行事や各種施設への慰問に加え、関八州太鼓祭りではジュニアの部で経験を積み、過去に先輩たちが挑んだこの大舞台に自分たちも挑戦したい想いを馳せてきました。そして今回このメンバーで出場する機会を得ることができ、感謝しております。

演奏する曲も同じく『閃陣』。

取手市には、日本一簡潔な手紙、『一筆啓上 火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ』の手紙で有名な、徳川家康の重臣『本多作左衛門』のお墓があります。大勢の敵陣の中で作左衛門率いる少数兵たちが果敢に戦う姿を思い描き、さあ、いざ、出陣！

16

たい こ れん だい こ おおむら太鼓連くじら太鼓

長崎県



演奏曲

な つ かぜ
夏越の風

代表者: 田中 俊己

井川 愛唯／川本ひなの

荏隈美茶桜／井川 陽緑

吉田 小夏／中野 芽唯

浦野 杏奈／浦野 世奈

田中 優希／田中 藍李

山口愛寿菜／宮崎 陽菜

川本 誠也／高増 暖人

大村市は、1000年の歴史を持つ城下町であり、城主が日本初のキリシタン大名であり、ローマ法王のもとに四人の天正少年使節を送り謁見した事は歴史的にも良く知られています。

その時代とほぼ同じ頃、大村では捕鯨が盛んであり、その網元で巨大な財をなした「深沢 義太夫」と言う人物が居りました。

彼は、捕鯨で得た財産 3000両をすべて大村藩の為に使い、自らは生涯質素な生活を送り、その一生を終えたそうです。

おおむらくじら太鼓は、「深沢 義太夫」の遺徳をたたえと共に、その当時の勇壮な鯨取りの様を太鼓の響に変え、400年の歴史を越え大村市最大のまつり「夏越まつり」の中から誕生しました。

17

たか くら ひこばえ だい こ 高倉薬太鼓

宮城県



演奏曲

かぜ っこ きょう せい

風鼓共生

代表者: 門脇 勝文

高橋 彩華 / 三浦 千佳

鎌田 文 / 我孫子紗弥

三浦 沙弥 / 手島 權

三浦 詞 / 本田 徠人

鎌田 基幹

平成4年大崎市高倉地区にコミュニティ活動の一環として発足。

「薬」とは樹木などの切り株から芽を吹く新芽のこと。「どんなに苦境の中でも芽吹く薬のように力強く生きるように」と命名しました。

発足当時の子供たちが今では社会人となり、ジュニアのメンバーと共に、地域のイベントなどで積極的に演奏活動も行っています。

今後も日々精進し、和太鼓の魅力を伝承しながら地域の皆様に末永く愛される太鼓団体を目指します。

18

ふう てん だい こ ほ ぞん かい が ふう どう 風天太鼓保存会 雅風童

佐賀県



演奏曲

かぜ かみさま

風の神様のおんなさる

代表者: 山崎かおり

二宮 千鶴 / 高柳 光

水田 杏里 / 緒方 秀真

原 朱嶺 / 亀山 優花

亀山 隆太 / 板山 姫果

竹尾 翼 / 高柳 心

私たち「風天太鼓保存会」は、佐賀県のみやき町、旧中原地区の有志が集まり、風の神さまを祀る「風天山」より名前をいただき、風光明媚な環境の中で、地域の皆様からのたくさんのご支援をいただきながら、地域でのイベントを中心に、県内外での演奏活動を行っています。私たちは、日々、太鼓の演奏を通して、伝統文化の継承とともに、礼節を重んじ、練習に取り組んでいます。ジュニアチーム「風天太鼓保存会 雅風童」は、仲間を信じ、お互いに厳しさをもって練習に取り組んできました。今日は、聴いてくださる皆様の心に届くよう、一打一打、気持ちを込めて大切に演奏したいと思います。

19 やま と ひび きょう 大和の響き・京

京都府



演奏曲

みや こ
都 鼓

代表者：富治林 浩

清水 萌未／岡本あかね
奥田菜々華／奥田悠太郎
川七 瞳子／吉川 七星
加藤 瑞季／山中萌々華
中尾 暁／竹村 勇也

1998年冬季長野オリンピック出場の際、京都府下太鼓好きのジュニアが集まり、1997年チーム結成。以来、「心技態」をテーマに、ジュニアの育成を目的とし「太鼓で学ぶ」練習を継続中。

社会的意義のある演奏活動にも取り組んでいる。最近では、リーダーを中心にメンバー一同、意見を出し合い、古都京都のイメージでオリジナル曲を創作できるまで成長し、意気も上がり、心を合わせ練習にはげんでいます。20周年記念を迎える。

20 にち なん たい こ しゅう そ ら 日南太鼓衆「爽空」

宮崎県



演奏曲

れん
蓮

代表者：中津洋二郎

遠藤 風花／中津 七海
中津 七星／遠藤 凜花
金倉 愛果／宮川 篤海
竹内 悠人／藤浦 未羽
坂本 泰樹／山田 優夏
竹内 唯夏／日高隼也人
日高 優心／藤浦 柚菜

宮崎県南地区で活動している太鼓団体より、有志により発足いたしました「日南地区太鼓保存会」は、次世代の青少年の健全育成を推進しながら、地域コミュニティの発展に寄与することを目的に平成19年6月に日南市を中心に小学生から高校生までのジュニアチームを結成いたしました。

「どこまでも続く青い海、ふりそそぐ太陽、飢肥杉の山々、吹きぬける爽やかな風、そのすべてをつつみ込む青い空・・・みんなが見上げる爽やかな空のようでありたい」この日南の情景とチームの気持ちを込めた名前のようになれるよう日々精進したいと思っています。

21 はし もとりゅう 橋本流みゆき太鼓 だい こ

北海道道南



演奏曲

きた しゅん ば
北の駿馬

代表者: 梅花 孝好

清水 遥香 / 小林 諒佳

小林 結月 / 金澤 信心

小川真之介 / 川村 尚矢

片岡 瑠

橋本流みゆき太鼓は、札幌を本拠地として演奏活動を行っている橋本流地獄太鼓の室蘭教室として2004年4月に結成いたしました。

橋本流地獄太鼓は、1965年登別温泉地獄太鼓のリーダーとして活躍後、渡米1年間太鼓の普及活動をし、1990年4月に札幌にて橋本流地獄太鼓を設立。日本古来の和太鼓の普及と和太鼓を通し「礼・心・技・体」の伝承に勤め、道内外での演奏活動、全国コンテストへの挑戦を糧に技術向上を目指すと共に道産子の粹、たくましさを全国へ発信したいと願う。(公財)日本太鼓財団の公認指導員である橋本光司氏の指導を受け、一打一魂、スピード感のあるダイナミックな振りで視覚、聴覚を通し心に訴える独自の太鼓を目指しています。

みゆき太鼓は、地元を中心に演奏活動をさせて頂いております。

22 なが やま とん でん だい こ 永山屯田太鼓 Jr. 翔 しょう

北海道道北



演奏曲

ほう じょう
豊穰

代表者: 竹端 陽一

金山 空斗 / 工藤 成夏

工藤 陵汰 / 遠藤 璃玖

中振 奈央 / 浅野 寧央

鳴海 有音 / 新村 壘

和泉 未佑

昭和58年、旭川市。永山屯田太鼓保存会発足時より、地域の活性化と青少年の育成を目的とし子供の部も活動を開始しました。

平成11年4月には、「永山屯田太鼓 Jr. 翔」と名前を改め活動を本格的にスタートし、活動の場を広げています。

発足当時は、10数名だったメンバーも、現在では小学4年生から高校3年生までと幅広く、20名で活動しています。

主な活動内容としては、地域のお祭りやイベントはもちろんのこと、老人ホームへの慰問やボランティア活動等を行っており、保存会の記念事業でも大活躍でした。

23 ひ かみ おと め だい こ そう 火の神乙女太鼓 爽

鹿児島県



演奏曲

ハネウマ

代表者: 平田 寿一

平田 理子／小村 なつき
金倉 華／折田 好
武内 美空／竹内 楓
萩原 花吏／萩原 李羽
桑原 瑛太

この曲は、5年前に乙女太鼓を卒業する先輩が、後輩たちに向けて作曲しました。今までコンクールで頂点に立つための練習を中心にしてきましたが、太鼓のおもしろさや創造を膨らましていくという点では、まだまだだったことを反省し、「もっと太鼓を打つことを楽しんでほしい」というメッセージを込めて作ったそうです。

一つひとつのリズムの表現やおとのニュアンス、そして先輩が伝えたかったもの、そういったものを考え、学び、受け継ぎ、伝えていくことを練習で学びました。

佐渡で太鼓の修行中の先輩に負けないように、私たちも楽しんで太鼓を打てるようベストを尽くします。

24 しん しゅう や はた かなぎ だい こ 神洲八幡巫太鼓

福岡県



演奏曲

げん かい なみ がえ

玄海波返し

代表者: 小路 美保

三原 純菜／前迫 弥羽
北岡 令央／辻本 さくら
富田 佳麟／般津 汐里
中嶋 夏七／友原 夢佳
南 穂乃花／清水 陽香
鳥羽 葉月／水下 友楓
作田 七葉／木村 南葉
権藤 彩葉

「神洲八幡巫太鼓」は、昭和64年に発足した神洲太鼓の子供チームとして、普段は、大人と一緒に演奏活動をしています。

そして、神洲太鼓に発足当初から伝わる、石川県の加賀太鼓の打法「胴打ち」や「フチ打ち」「返し打ち」を通して、変わらない素晴らしさとこれからの時代を担う私たちに必要な心身の強さ、粘り強い精神力を身につける大切さを学んでいます。

「玄海波返し」は、それらの打法を生かして、私たちが住む北九州市に面した玄界灘の力強く逞しい荒波の様子をイメージして作られた曲で、四季折々に移り変わる海の表情を和太鼓で表現しました。

皆で考え練習を重ねた「子供の私たちにしかできない身体の使い方」「呼吸の合わせ方」をもとに精一杯打ちこみます。どうぞ宜しくお願い致します。

25

おわりしんじろうだいこほぞんかい
尾張新次郎太鼓保存会

愛知県



演奏曲

かぐやがたいこ きょくたいこ しんぐま
神楽屋形太鼓／曲太鼓 神来舞

代表者：西川恵美子

伊藤 竜司／松澤 杏奈
 岩田 紗音／西川こはる
 服部 壮志／小笠原夕嬉
 水谷 紗菜／内川 颯太
 棚橋 日菜／松澤 結衣

尾張新次郎太鼓保存会は、愛知県西部『尾張地方』の農村地帯に江戸時代(文化・文政)の頃から伝わる神楽太鼓です。その名称は祭囃子の復活に生涯を捧げた初代会長、故 西川新次郎氏の名前からきています。

当会の神楽太鼓は(曲太鼓)と(神楽屋形太鼓)に大別できます。前者は、長胴太鼓と紐締太鼓を座して、檜製のバチを回転させたり、飛ばしたり曲芸をしながら通叩するもので、曲名には『神来舞・わたよせ崩し・森津』などがあり、後者は、竹を細かく割ったバチで、屋形の上の長胴太鼓(黒檀・紫檀等)と締太鼓を歩行しながら演奏、長胴太鼓は破れる寸前まで張っており、非常に甲高い音がします。それぞれ神楽笛に合わせて奏叩するこれらの太鼓は、名古屋市にある熱田神宮の大神楽から発生したものです。

26

こまおうだいこあらし
駒王太鼓 嵐

埼玉県



演奏曲

いふうどうどう
威風堂々

代表者：嶋田 淨

小澤 望裕／関根 佳弥
 岡野 実瑠／新井 和奏
 大工原柚果／馬場 康太
 郡司 蒼生／竹内 美優
 菅原 心那／杉山 聖哉
 竹内 翔己／戸田 樹
 戸田 陽

駒王太鼓 嵐は、平成2年に結成され、創立28周年を迎える駒王太鼓愛好会が指導するジュニアチームです。駒王太鼓は嵐山町で生まれた源 義仲公(幼名駒王丸)の波乱に満ちた生涯を太鼓で表し、創設以来、嵐山町の伝統芸能として後世に伝承されることを常に念頭に置き、嵐山太鼓祭りをはじめ、町内外の記念式典、小中学校での体験教室各種イベントでの太鼓演奏に積極的に取り組んでいます。現在は36名のメンバーで年齢層も小学校から熟年まで大きく広がっていますが、世代を越えて、太鼓を愛する仲間として、それぞれの思いで練習に励み、日本の伝統的な文化である和太鼓の紹介や、創作太鼓の魅力や楽しさを、一人でも多くの方に伝えたいと願い、積極的に活動しています。

27

とうきょう と りつ み はら こう とう がっ こう わ だい こ ぶ

東京都立美原高等学校 和太鼓部

東京都



演奏曲

きらめき

燦

代表者：山本 剛

板橋 玲奈／今村 敦輝

宇佐美鈴菜／木谷畑彩乃

桑原 愛子／志賀月海夏

柴山 紗良／野村 奈央

廣橋まひろ／藤井 小春

星野 葉那／須藤 悠伸

青木 希美／福原 由菜

皆川夕姫乃

こんにちは東京都立美原高等学校和太鼓部です。

和太鼓部は創立とともに創部され、今年の4月14年目を迎えます。現在は二年生11名、一年生12名「人の心に響く、愛情のある演奏」を胸に、日々稽古に励んでいます。

今回、演奏させていただく曲は「燦」です。

この曲は演奏者一人一人がきらめいて演奏して欲しいという願いが込められた楽曲です。

曲調と共に変わる雰囲気、演奏者の表情、大太鼓の力強い躍動、宮太鼓と斜め太鼓を華麗に打ち込む姿、締太鼓のなめらかな掛け合い、そして長胴太鼓、大太鼓、締太鼓の音質が掛け合うアンサンブルをお楽しみください。

さらに演奏者だけでなく、聴いてくださった皆様の心もきらめくようなあいじょうのある演奏を、全力でお届け致します。

28

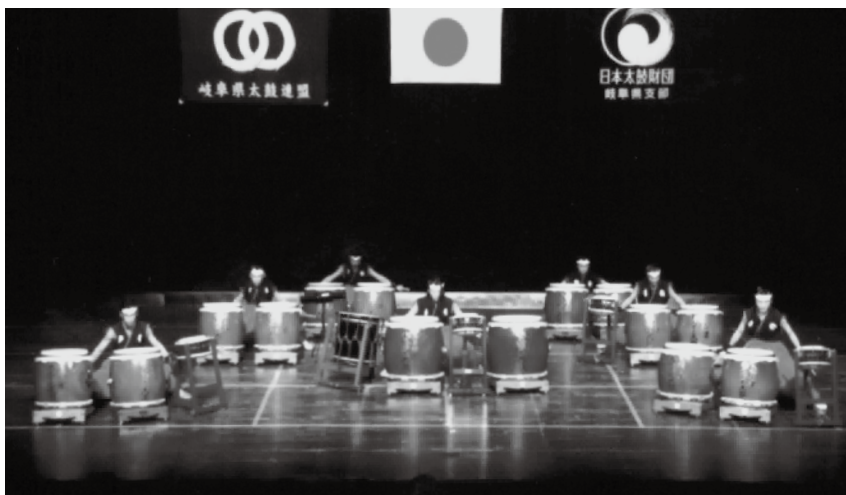
かみ いし づ

たい こ ほ ぞん かい

ゆい

上石津もんでこ太鼓保存会「結」

岐阜県



演奏曲

さん

が

山 河

代表者：永墓 清一

伊藤 綾香／河添 日向

土方梨里亜／田島 麟花

藤田 尚寿／伊藤 菜乃

大橋奈乃羽

村おこし事業の一環として平成元年に発足。「もんでこ」とは、方言で「戻っていこう」「帰っていこう」と言った意味で町へ出て行った若者へのメッセージであると共に人と自然が調和する願いが込められています。少子化が進む中、郷土を愛し文化伝承に貢献する青少年が集まり、平成6年に少年部が誕生しました。現在では社会人「弾」、高校生までの「結」、小学生の「葵」と、3チームに分かれ各世代の育成に取り組んでいます。

縦割り社会のチームで、自分のなすべき責務をそれぞれ把握し行動してきました。今まで頑張ってきた自分とそれを支えてくれた皆さんに感謝しつつ上位入賞を狙っていきます。

29

きく よう む さし けん ごう だい こ
菊陽武蔵剣豪太鼓

熊本県



演奏曲

はな び
花 火

代表者: 坂口 繁幸

福嶋 光／川口 悠斗
 堀田 幸／前田 実空
 神鷹 葵／古澤 広野
 山戸 美亜／今井桜優里
 田上 誠樹／松岡 隼
 山崎 光祐／堀田 衣未
 山崎 圭琳／田上 香菜
 岩永 果倫

私たち菊陽武蔵剣豪太鼓は昭和60年に発足して33年目を迎えています。

週2回の練習で、町内のイベントからボランティア活動等に積極的に参加しています。

今回、4年ぶりに2回目の出場ですが、前回と同じ曲でチャレンジさせていただきます。

今回は、以前叩いた曲を大幅に改良し、又、バージョンアップして皆様の下に帰ってきました。眼で、耳で、肌でたくさんの花火の彩(いろどり)を感じていただければと思います。打ち上げてみせましょう。皆様の心に響く大輪の花を。

30

やま と だい こ ほ ぞん かい こ てん どう じ
大和太鼓保存会 鼓天童子

佐賀県



演奏曲

たから かわ
宝 川

代表者: 野方 嘉孝

松崎 光遥／多田 聖矢
 平野 凱大／南里 紗希
 南里 拓海／菊池 輝
 南里 舞／上瀧ありさ

平成2年、大和太鼓保存会の子供の部として結成される。地域のまつりごとを中心に演奏活動しているが、最近では、各方面からの依頼も多く、色々な所での演奏も増えているが、太鼓を通じて、礼儀並びに、我慢や根性を身につけようと日々精進している。

昨年までは、特別賞受賞までいけたので、今年は五位以内入賞を目指して練習に励んできました。

達成できるよう一生懸命に演奏いたします。

曲名「宝川」は佐賀平野の中央を流れる嘉瀬川が昔から人々の命の川、生活の川で宝川と呼ばれていた。その頃の人々の思いを表現。

31

がっこうほうじんぬま づ がくえん ひりゅうこうとうがっこう わだい こ ぶ

学校法人沼津学園 飛龍高等学校 和太鼓部

静岡県



演奏曲

おと
音

代表者：生野 正弘

鈴木 颯太／渡邊 和弘
 横浜 宏哉／西原 沙耶
 堀井 龍馬／勝亦 青空
 菊澤 遼馬／久保田勇斗
 堀江 光希／氏家紅瑠実
 鈴木 龍星／渡邊 未佑

和太鼓部は、人とのふれあいを通して、豊かな人間育成を図ることを目標に創部しました。本年度、創部13年と部の歴史は浅いが、地域や人との円滑な関係づくりをテーマとして、老人ホームや幼稚園への慰問、各地区で行われる祭典や式典など、様々な会場に於いて公演を行っています。結果、全国高等学校総合文化祭などにも連続出場を果たし、上位入賞することもできました。更に、平成26年度には、内閣府特命担当大臣から「社会貢献青少年表彰」をいただきました。

また、平成28年度は公演回数が100回を超えました。今後も、ご支援くださる皆様の思いを糧として、多くの方々に感動を覚えてもらえるような演奏ができるよう頑張っていきます。

32

ほっ かい どう

え ぞ だい こ

北海道くしろ蝦夷太鼓ジュニア

北海道道東



演奏曲

まつ
EZO 祭り

代表者：金澤 義一

皆川 幸一／金澤 侑来
 栢本 知峻／宮島 将吉
 神 翔／吉岡 栞
 佐々木瑠菜／奥野 彩華
 半田 絢瀬／村岡 栞那
 栢本 小暖／米澤 日和
 平山 真／佐々木琉栖
 畑中 颯太

北海道くしろ蝦夷太鼓保存会を親会として、蝦夷太鼓ジュニア(中学校・高校生)と寿子ども蝦夷太鼓同好会(小学生)の2支部が手を取り合った編成チームです。

和太鼓を素材に、北海道の大自然の中に生きる人々の生産と生活そして、祈りを演奏のテーマに据えて表現し、郷土芸能の振興と芸術文化の向上の貢献に、学校行事や釧路市地域のイベント等に積極的に参加し活動を行っています。

小学生中心の小さなチームではありますが、子供らしく元気一杯、北海道の大地と大空のように悠々と演奏いたします。

33

たい こ けん しゅう

太鼓研修センター「響」

ひびき

宮崎県



演奏曲

そう てん
蒼 天

代表者: 今村 秀樹

櫻井 雅貴／左近 百絵

杉尾 悠介／赤木 奏太

山中 裕稀／丸野 華月

杉尾 里菜／長友 芽依

本多 澄海／大村 朋希

杉尾 蒼也／吉田 響

私達、太鼓研修センター「響」は、和太鼓の音に魅了され、和太鼓を始めた研修生たちがチーム練習に参加し、その中から選抜されたメンバーで結成したチームです。

日本古来より伝わる伝統的な和楽器(和太鼓)を通じて、礼に始まり礼に終わる等の礼儀作法を身につけ、太鼓以外の事も一生懸命に取り組む事も学びつつ、和太鼓の奏でる素晴らしい鼓動と、心に響く感動を少しでも多くの人々に伝えていけるよう、これからも日々精進して参りたいと思います。

本日、演奏致します曲「蒼天」は先輩方から引き継いだ曲で、先輩方に負けないように精一杯演奏致します。

34

う つの みや わ だい こ し めん かい

宇都宮和太鼓四面会 青龍組

せいりゅうぐみ

栃木県



演奏曲

みや まつ
宮の祭り

代表者: 湯澤 一樹

猪瀬 愛／土屋 拓也

小長井瑞希／岡崎 烈

岡崎 叶羽／鈴木 透太

鈴木 由奈／入野 優香

山田 月／大森 春輝

林 世理

当会は、栃木県宇都宮市にある「ゆりかご保育園」「ゆりかごきっずなーさーりーすくーる」という2つの保育園の卒園生を中心に平成14年に結成されました。

現在、県内の小中高生35名が、挨拶や礼儀、感謝の気持ちや気配り、仲間との協調性等を大切にしながら和太鼓を通じて人として成長することを目標週1～3回の練習に汗を流しています。

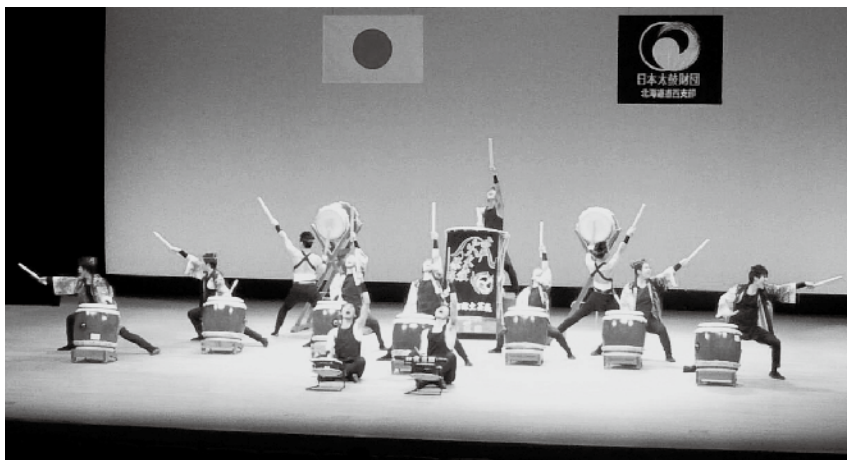
演奏します「宮の祭り」は、地元宇都宮で毎年夏に開催される「ふるさと宮まつり」の太鼓や踊り、お囃子、お神輿などを表現しています。宜しくお願い致します。

35

あか びら ひ だい こ ほ ぞん かい

赤平火太鼓保存会

北海道道西



演奏曲

たい かい

大海

代表者：浮田 直利

浮田 雄斗／風間 萌菜
 本田 聖貴／本田 琉奈
 加藤 舞桜／五十嵐恭也
 佐藤 志穂／畑中 優心
 五十嵐 渉／山谷 聖奈
 山谷 優羅／奥原 楓

赤平火太鼓保存会は昭和52年に赤平青年会議所の手により「太鼓を通じて子供達の健全育成を計る」このような旗印をかかげて発足し、今年で40年がたちました。当初メンバー10名ほどが集まり、誰一人太鼓の経験が無い状態で子供達に教えていました。現在はその子供達が指導者となり、会員数も増えて現在では32名の会員で活動しています。

平成8～17年に赤平市の友好都市石川県加賀市動橋町「ぐず焼き祭り」で演奏、平成10～14年に夕張市で開催された「喜多郎in夕張」に出演、平成16年には北海道・サハリン州姉妹都市代表者会議「日露文化公演」でサハリン海外公演と言う貴重な体験をした事により、太鼓の技術向上は基より、心身の成長に大きな影響を受ける事が出来ました。全国大会での入賞を目標に日々練習に励んでいます。

36

くまもと し りつ ひつ ゆう かん こう とう がっ こう わ だい こ ぶ

熊本市立必由館高等学校 和太鼓部

熊本県



演奏曲

ひ こ ま る

肥後の鼓舞

代表者：鹿子木賢輔

田尻 拓海／吉村侑衣日
 田上由梨亜／田上 尚樹
 上田愛悠良／本田 玲奈
 丸山 咲恵／内田 真鈴
 金子 もえ／中尾 舞
 米谷 真実／境 萌夏
 松岡 有紀／元田 京助
 米 南々甫

私たち必由館高等学校和太鼓部は、初心者でもできる部を作ろうということから発足し、今年で活動17年目を迎えました。全員が高校入学からの素人ですが、お互い切磋琢磨し、どんなことも乗り越え、心身共に成長してきました。「心をひとつに和」の精神の下、常に笑顔と感謝の気持ちを忘れることなく、稽古に励んでいます。

演奏曲「肥後の鼓舞」は、肥後熊本の豊かな自然やここに暮らす人々を太鼓の舞で表現したもので、阿蘇山や熊本城に代表される熊本の雄大さと力強さ、そして人々の大らかさを表現します。私たちののはち切れんばかりのエネルギーと躍動感を感じていただければ幸いです。

平成28年4月の熊本地震から復興の進む熊本です。未だ熊本城は完全に修復できておりませんが、全国からの多大なるご支援ありがとうございます。一打、一振りに心を込めて演奏いたします。ご声援よろしくお願い致します。

37

えっ ちゅう

たい こ ほ ぞん かい しゅん らん

越中いさみ太鼓保存会 春蘭

富山県



演奏曲

らん

代表者: 高木 民雄

川邊 楓華 / 斎藤あかり

廣井 美玖 / 片田 結菜

野村日向子 / 森田 善心

織田倫太郎 / 片田 有哉

織田寿々音 / 亀田 結菜

我々、越中いさみ太鼓保存会は富山県砺波市野村島の鎮守桑野神社の神事に起因し、1952年には富山県で最初の保存会を結成し、2013年には結成60周年を迎えることができました。

会員構成は大人の部と子どもの部があり、大人は皆、子どもの頃から続けているものばかりです。大人になって自分の子どもに教える形で参加し、中には親子3代で参加しているものもあり、これによって受け継がれてきたとも言えます。

基本の演奏は笛・地方にあわせて打ち込む曲打ち太鼓で、打ち込みの力強さとバチさばき、これを生み出す為の音の間の取り方、体さばきに特徴があります。太鼓に合わせて笛や鳴り物等を使う団体は多いのですが、笛(曲)に合わせて打ち込む太鼓は珍しいと思われます。全国講習会等の専門講座「三つ打ち講座」を受けられた方は体感されたかと思います。

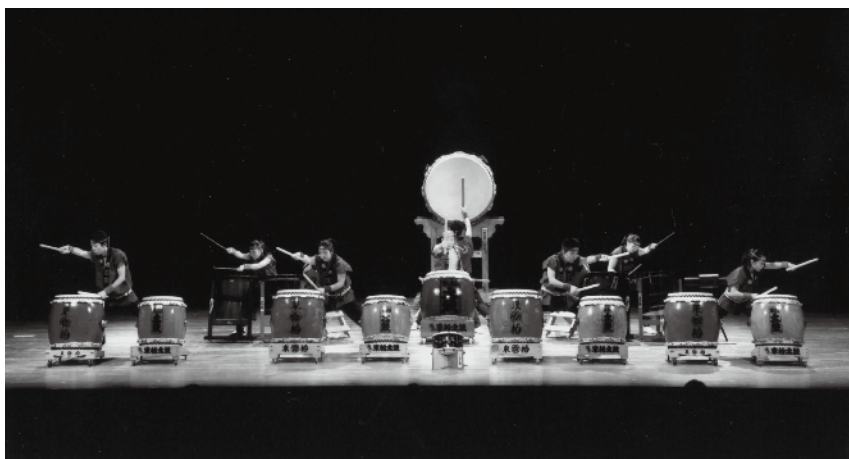
今回出場します「春蘭」はこれまで女人禁制だった当団体に、新たな風を吹かせるため結成された、女子中心のチームです。いさみ太鼓の伝統を守りながら精一杯演奏し、みなさんの目と耳に残るよう、力を出し切りたいと思います。

38

え び な と う は く だ い こ

海老名東柏太鼓

神奈川県



演奏曲

は どう
波 濤

代表者: 嶋田 昭彦

森田 愛結 / 渡辺 拓弥

青木 幸穂 / 島田 健太

本持 風稀 / 落合 和

島田 千優 / 伊藤 大希

相模国、悠久の流れ相模川を懐に抱き、恵まれた自然の地、市場の会場を知らせる太鼓をすえたと伝えられる大谷太鼓塚のあるまち、歴史と文化を発祥する海老名に1980年、海老名東柏太鼓は誕生しました。

また、2000年、海老名郷土芸能文化奨励団体第1号として認定を受けました。

今回演奏するのは、波濤という曲です。

波濤という言葉には、空間の一点に生じる振動という意味があります。私たちはその様子を、心を一つにし、音の一つひとつ合わせることで波がうねる様な動きを太鼓で表現しました。

その鼓動は、勇壮華麗でダイナミックであり、また変じて、穏やかで繊細な響きとなります。聴く人の心を魅了出来るように一生懸命演奏させていただきます。

39

わ だい こ しゅう だん おと や
和太鼓集団 響屋ジュニア

香川県



演奏曲

ゆう ろ
遊 浪

代表者: 詫間 浩二

南 隆之／西田 優真
山下 洸稀／矢野 楓賀
黒木 佑泰／原田 斗嗣
奈良 蒼／伊藤 光輝

私たち「響屋ジュニア」は、2000年11月に活動をスタートした「和太鼓集団響屋」の中高校生メンバーで組織したユニットです。

メンバーは全員、響屋の下部組織である子ども太鼓での活動から大人チームに移行し、さらなる精進を続けています。

県内外での各種イベントへの出演のほか、自主コンサートや様々なジャンルのアーティストともコラボレーションライブを行うなど、“響屋ならではの”音表現をテーマに、個性溢れるパフォーマンスを目指しています。

今回、初めて県予選で優勝することができ、あこがれの全国大会に出場を果たすことが出来ました。自分たちの持てる力を最大限に発揮できるよう、精一杯の舞台を務めてまいります。

40

ひと よし だい こ
人吉ねぶか太鼓

熊本県



演奏曲

たち き こ もりうた げきどう
立木の子守唄(激動)

代表者: 渡辺 孝昭

椎葉 光司／椎葉 有生
村上 万亜／大戸 愛
吉鶴 萌花／渡辺 優美
荒川 麻菜／渡辺 亜美
椎葉 春哉／新門 大空
野尻 明菜／椎葉 美風
部 絆生／新門 泰斗

私たち人吉ねぶか太鼓は、川辺川ダムの賛成と反対のはざまの中で地元の人々がお互いに反目し合った状態を見てきました。

結果として、ダム建設は中止で激動の日々は何んだったのか。

それを、子守唄の曲に表現して作りました。

激動と悲哀の中で、苦しんだ人々・その人達の為に一打一打に心を込めて演奏します。

41 やまばと太鼓

たい こ

秋田県



演奏曲

ふるさとまつり

代表者: 大友 剛

大山	桃花	小浜	優樹
山下	亜実	下坂	陽向
川村	美優	下坂	陽菜
大山	美咲	下坂	陽南
梶山	銀雅	小峰	庵
川村	優亜		

「心のふるさと やまばと太鼓 それは幼い日の思い出」

「太鼓の音それはお母さんのお腹の中で聴いた懐かしの音」

秋田市にあります「やまばと保育園」の卒園児とその地域の子どもたち、大人で活動している太鼓団体です「ふるさとを大切にしたい、自分が生まれ育った地を忘れないで欲しい」そんな思いから昭和61年、子どもたちの健全育成の願いを込めて始めました。子どもには限らない能力と可能性を感じます。この子たちが太鼓を通し、太鼓の技術だけでなく挨拶や思いやりの心など、人としての大切なことも身につけ、健やかな成長へと繋がることをも願っております。

はばたけ・やまばとっ子、大空に

42 諫早天満太鼓

いさ はや てん まん だい こ

長崎県



演奏曲

天響

代表者: 古賀 靖治

上野	美結	橋本	海優
田中	葉月	田中	智裕
高尾	由希	高尾	伸吾
中島	遥花	山田	大翔
渡辺	碧也	森田	陸斗
古賀	晴喜	山口	結月

長崎県のほぼ中央に位置する3つの海に囲まれた諫早市、昔は酒樽を叩いて祭りを盛り上げていたと云う。時代は流れ、今や太鼓なしでは諫早の祭りは始まらない。

そんな中で生まれた『諫早天満太鼓』は発足、29年、小学生から高校生のジュニアチームを中心に青年・還暦チームと約40名の太鼓馬鹿が集まり日々熱い練習をしています。

この中で喜びを分かち合えるかけがえのない仲間と出会い、心をつにすることの大切さも知りました。

演奏曲『天響』は、日本一の干潟を持つ有明海や多良岳吹きおろしの寒風など、わが町諫早の歴史や自然を力強く表現しています。

43

たちばな だい こ

橘太鼓

ひびき ざ

「響座」

ジュニア

宮崎県



演奏曲

ひ むか わかしゅう た かん

日向若衆・田の神さあ

代表者：岩切 邦光

山床 風／津郷 良執

黒木 優成／竹ノ内奏斗

川野 太陽／山本まどか

黒木 美羽／三浦 悠彩

森田 翔真／坂本 悠真

竹ノ内愉生斗／久米田晃法

後藤 瞭来／坂本 琢真

後藤 謙志

私たち橘太鼓「響座」ジュニアは、平成17年に愛知県名古屋市で開催されました「愛・地球博」出演をきっかけに結成された、宮崎県宮崎市に拠点を置く、橘太鼓「響座」のジュニアチームです。

演奏曲「日向若衆・田の神さあ」は、宮崎県（日向の国）えびの市に昔から伝わる、冬は山の神となり、春は里において田の神となり豊作をもたらすとされている田の神を「田の神さあ」と呼んでおり、農民が一年に一度「田の神さあ」に豊作を願い、様々な色の衣装を身に着けにぎやかな祭りをを行っている事を「田の神さあまつり」といいます。本日は、その祭りを日向若衆（宮崎の若者）が表現し、毎日の練習の頑張りが舞台で出せるよう精一杯がんばります。

44

おう しゅう みず さわ

奥州水沢

さっ つ わ だい こ の かい

颯人和太鼓乃会 Jr.

岩手県



演奏曲

よろこび

代表者：佐々木俊介

千葉 由路／佐藤 滉馬

濱田 遥華／管野 泰斗

千葉凜太郎／菊地 ひな

小川 蓮菜／尾形 優菜

平成18年に颯人和太鼓乃会のジュニアチームとして設立。

和太鼓の音色と表現を勉強して、心と体を鍛えながら、日々の練習を重ねています。

今日の曲目は、「よろこび」と言う曲です。

この場所で演奏できる喜びと聴いて頂いた皆さんの心と繋がる喜びを感じながら一生懸命に演奏します。

どうぞ！皆さんの応援をよろしくお願い致します。

45

ひろしまさんようがくえん さんようこうとうがっこう わだい こ ぶ さんようだい こ だん
 広島山陽学園 山陽高等学校 和太鼓部 山陽太鼓 “弾” 広島県



演奏曲

かつ かく
 赫 赫

代表者: 平田 昌久

赤石有紀乃／矢野 実里
 矢田 美幸／二井 夏恋
 和気 歩花／前坂 与
 中野有二郎／浜田 楓
 小林 大熙／眞木 奏汰
 垣内 拓哉／松永 夏旺
 湊 鍊／山川 竜都
 畝岡 昂平

山陽高校和太鼓部は部員が団結し、楽しくはずんで叩くようにとの願いを込めて、グループ名を山陽太鼓“弾”と命名し、1997年から広島県を中心に各地で演奏しています。衣装の背中には三つ巴。肩にある黒地に赤の3本のラインは毛利元就による『三本の矢』の言い伝えに基づいています。毎週火・水・木・金の放課後、週末の演奏活動に向けて練習しています。元気と笑顔を観客に届ける事を目標とし、オリジナル曲を中心に、地域のイベントやお祭り、小中学校などの教育機関での演奏など、年間70回近い演奏活動を展開しています。その他全国大会や海外遠征などの演奏活動を通して、生涯忘れることの出来ない思い出と、たくさんの貴重な体験をさせていただいています。演奏だけでなく、校外での演奏活動で関係スタッフとの交流を通し、礼儀礼節の大切さと、何事にも感謝する気持ちを念頭に置いて活動しています。部員の多くは高校入学してから太鼓を始めた初心者ですが、本日は1年生と2年生で演奏する機会を頂けたことに感謝し、一生懸命演奏しますので応援よろしくお願いいたします。

46

び しゃ もん だい こ こー る
 あくね毘沙門太鼓 響流ジュニア 鹿児島県



演奏曲

さつ ま い しん
 薩摩維新

代表者: 牧尾 正臣

牧尾 拳斗／牧尾 圭吾
 牧尾 将／丸尾 拓人
 新町 隼人／倉津 龍星
 中村 慎哉／牧 凌
 池田琥珀龍／池田 壮空
 田良島 夢／梶尾 好加
 梶尾 弥果

薩摩維新について

私たちが活動の中心にしている阿久根市は、明治時代の始めに神奈川県知事や外務卿として活躍した寺島宗則の出身地でもあります。

寺嶋は若い頃には通訳や医師として働き、国禁を犯して英国に留学した若き薩摩の青年たちの引率者でもありました。

新しい世の中で新しい風を吹かせることに情熱を注いだ地元の先輩に倣い、「薩摩維新」には明治維新期のたぎるような薩摩人の気持ちを込めています。

私たちの街の目の前に広がる東シナ海に沈む夕日は、力強い赤のなかにやさしさを感じさせてくれます。そのような美しい夕陽を見て育った私たちの音。150年前の情熱をよみがえらせながら皆様にお送り致します。

47

なら けん りつ なら す ざく こう とう がっ こう わ だい こ ぶ わ だい こ あき しの
 奈良県立奈良朱雀高等学校 和太鼓部 和太鼓秋篠

奈良県



演奏曲

あき しの
秋 篠

代表者：西上 英雄

中村賢史郎／竹中 亮
 岡野 小雪／白田 雷人
 吉田 智尋／向井 初音
 米澤 友海／北橋 美郁
 米澤 奈海／高橋 圭祐
 西川 翔太／吉田 陽菜
 酒井 颯斗／廣田 愛
 大矢 有貴

奈良朱雀高校和太鼓部「和太鼓秋篠」は、今年で創部23年目を迎える伝統のあるチームです。前顧問や多くの卒業生が築いてきた伝統芸能の継承と発展のために、2年生10名、1年生13名の計23名で日々練習に励んでいます。毎年8月上旬に開催される「全国高等学校総合文化祭」に奈良県代表として出場しており、今年は宮城大会に出場しました。他にも世界遺産・古都奈良の文化財「平城宮跡」で行われる「平城京天平祭」、JR奈良駅前から始まり三条通りの練り歩き、メインである奈良公園など様々な会場でのパフォーマンスが魅力の「バサラ祭り」など、たくさんのイベントに参加しています。

48

めい とく ぎ じゅく ちゅう がく こう とう がっ こう わ だい こ ぶ たい こ しゅう み こ
 明德義塾中学高等学校 和太鼓部 太鼓衆魅鼓

高知県



演奏曲

わ つかさど せいれい
魺を司りし精霊
だい しょう じん
第2章 人陣

代表者：松井 正

中野 翔太／陳 志豪
 曾我部真雪／樋口 彩貴
 田村 陽花／小椋 樹
 高橋美津帆／中村 舞
 濱本 青那／寄本 隼平
 中山 結稀／エイドリアノ 倫香

私たち明德義塾中学高等学校和太鼓部は、創部12年目を迎えました。部は、日本人を始め、留学生、国際家庭の生徒が在籍し、国際色豊かな、また、多文化が共生する環境にあります。そんな中、私たちは日本の伝統芸能である和太鼓を演奏することを通して皆の心を一人にし、信頼関係を深めてきました。校内行事や、地元での依頼演奏を中心に、年間約70回の演奏活動をしており、過去には、オーストラリア、インドネシア、タイ、韓国での海外演奏も経験しています。また、本校は海外との姉妹校が多く、海外から本校を訪問されたお客様に、日本の伝統芸能である和太鼓の響きや和の文化の素晴らしさを伝える交流会なども積極的におこなっております。

49 かけ や だい こ 掛合太鼓ジュニア

島根県



演奏曲

る てん
流 転

代表者: 松下 周二

安食 美咲／大谷 昂矢
奥井 千夏／加藤 龍汰
土谷 彩絢／松村 彩加
岡田 昌樹／織田 侑希
加藤 大良／佐藤 萌江
中村明日華／中村 結
藤原 亜美／福島の花
名原 万絢

私たち掛合太鼓ジュニアは、27名で活動しています。太鼓をたたけることの喜びを感じながら練習してきました。掛合太鼓ならではのフサバチで華やかに美しく演奏します。

そんな私たちが今回演奏する「流転」では、四季折々の色どりがある八重滝の千姿万態の様子や、落差40メートルある中国地方で唯一の名瀑といわれる龍頭が滝のいさましい様に加えて、季節の移り変わりを水が流れを転じる様子を表現しています。

私たちはこの大舞台に立つまで、たくさんの方々に支えられてきました。その感謝をこめて最高の舞台で、最高の舞台で、最高の演奏を目指し、掛合太鼓らしくがんばります。

50 わ だい こ こ いち 和太鼓 鼓一

東京都



演奏曲

ふく どう
覆 動

代表者: 小林 勝彦

小林 亮太／小林 廉
島田 楽斗／島田 愛斗
坂本 類壺／坂本 凜穏
長井明日香／吉野 愛永

2008年に発足し、現在小学生から大人・親子での幅広い年齢層のチームです。八王子市内のイベントはもちろん、各地のイベントにも積極的に出演させていただいており、多くの方へ和太鼓のもつ魅力を伝えていきたいと思いい日々活動しております。

そして和太鼓の持つ魅力を最大限に活かすことを常に追及し、一打一打にこだわり、「弾ける」「跳ねる」「躍動する」演奏・演出を心掛けております。今回、ジュニアコンクール初出場となりますが、精一杯全力で挑んでいきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

51

しず おか けん りつ い ず そう ごう こう とう がっ こう きょう ど げい のう ぶ

静岡県立伊豆総合高等学校 郷土芸能部

静岡県



演奏曲

こ だま
木 霊

代表者：中村 洋平

山田 右京／児山 棕風
稲村 颯人／宮澤 和己
中野 理貴／池田 優斗
田中 唯斗／西川 凜
栗山 友見／木内 春那
菊池伯兒名／渡邊 跳馬
伊丹琉希也／谷口 颯汰
須田 遥夏

伊豆総合学校は、平成22年4月に修善寺工業高校と大仁高校の統合によりできた学校です。自然豊かな静岡県東部にある温泉地・修善寺に位置しています。郷土芸能部は、天城連峰太鼓様ご支援のもと、活動し、今年で21年目となります。

現在は、19人の部員で活動しています。日々の練習では、ひとりひとりが力を尽くし、また、互いを補うことを意識し、感謝の気持ちを忘れず、活動に取り組んでいます。

本日演奏させていただく「木霊」は、山々に音が反響する様子をイメージした曲です。太鼓の音が伊豆半島の山々に、波のように広がっていき、やがて、山全体へ伝わる大きな響きとなる……そんな情景を思い浮かべて聞いてください。

皆様の心に響くよう一生懸命演奏します。よろしくお願いします。

52

まつ かわ かず

みや たい こ

ぐみ

松川一の宮太鼓 はな組

岩手県



演奏曲

てん りゅう
天 龍

代表者：遠藤 一子

三浦 陸／佐々木輝龍
本堂 諒及／澤尻 月護
上山 航平／上山 瑠太
伊藤 綾海／上山 漣司
田村 京珠／佐々木夢歩
本堂 音華／山田姫桜未
遠藤のりか／小舘 瑞穂
工藤 隆道

19回の日本ジュニアコンクールに出場し、全国のジュニア太鼓の皆さんの生の演奏を聴いて、そのレベルの高さに感動して帰りました。今年も東北太鼓ジュニアコンクールの代表として、日本太鼓ジュニアコンクールに出場できることになり緊張で体が震えております。でも、沢山の困難を乗り越え、この大会を目指して稽古に励んできました。

故郷八幡平市の曲「天龍」を演奏します。私たちの八幡平市は、岩手山につらなる八幡平国立公園に囲まれており、その山々は、とても美しく朝に夕にその優美な姿で私たちを癒してくれております。

その八幡平に昔、龍が住んでおり日照りに苦しむ村人を救うために、八幡平に多くある沼を決壊し水を押流してくれたという言い伝えがあります。その様子を太鼓で表現してみました。

今日は、八幡平市を受け継ぐ子ども達が皆様の心に響くよう精一杯演奏します。どうぞ、お聴きください。

53 や すぎ だい こ ゆう しん ハッ杉太鼓 遊心

福井県



演奏曲

いっ せい
一 成

代表者: 高橋 光平

高橋 亘 / 佐々木一皓

三田村直哉 / 石本 海聖

高橋 英之 / 板倉 勇人

横山 稀咲 / 細井 悠加

石本 來空 / 浮田 そな

1989年、越前市(旧今立町)で活躍するハッ杉権現太鼓の元、この太鼓を継承していきたいという思いから、地元の小学生が集まり結成しました。今では地区を問わず、太鼓を叩きたい子供達が集まり練習しています。主に地元の祭り、イベントに参加し、太鼓の面白さ、楽しさを感じながら、日々成長すると共に、太鼓を通じて、感動、元気を与えられる、そんな太鼓を叩けるように日々練習に励んでいます。

日頃の成果をご覧ください!!

54 たい こ どう じょう かぜ かい 太鼓道場風の会ジュニア

山形県



演奏曲

じん らい
迅 雷

代表者: 伊藤 裕介

茂木 暁 / 日下 瑠唯

小野 美海 / 小野航太郎

村上 瞭太 / 後藤 汐音

佐藤 颯 / 佐藤 瑠俐

小野 彩夏

平成24年6月、山形県酒田市に発足した太鼓道場風の会ジュニアです。

現在は小学校1年生から高校3年生の男女20人で活動しております。

同じく酒田市で発足し25年以上の活動歴をもつ太鼓道場風の会の指導のもと、週1回の練習に励んでおります。

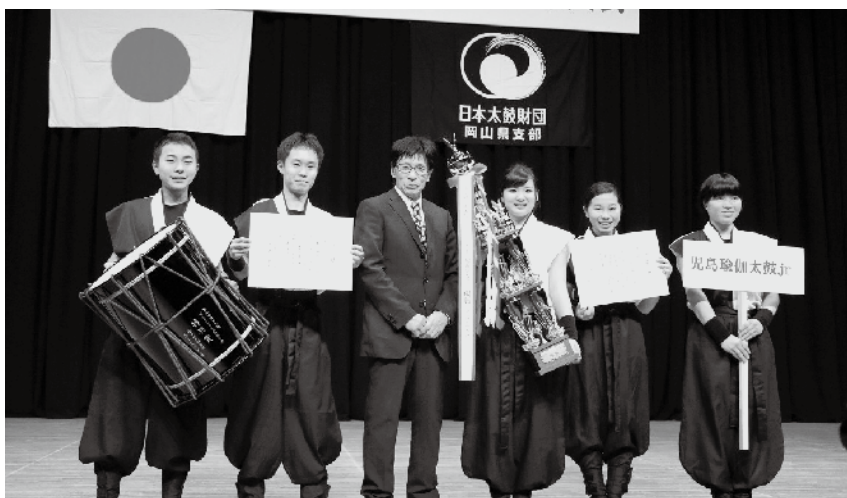
1月の日本海寒鰯まつり、5月の酒田まつり、8月の夏まつりなどの舞台経験を積み、10月に開催された日本太鼓ジュニアコンクール山形県予選を突破し、本日の全国大会へ出場できることとなりました。

ジュニアチームとして発足して5年、舞台上で演奏する度に、太鼓の楽しさだけでなく日々の精進の大切さを実感しております。

気持ちを込めて精一杯演奏しますので応援よろしくお願いします。

55 こ じま ゆ が だい こ 児島瑜伽太鼓

岡山県



演奏曲

ひじり きょう
聖の響

代表者: 佐藤 一博

山本 芽吹 / 三宅 鈴音

岩崎 靖矢 / 伊豆丸知英

白川望乃佳

昭和60年由加山の郷土芸能として創作に取り組み、昭和62年に瑜伽太鼓を発足しました。その後、平成元年、児島瑜伽太鼓として地域を広げ、結成以来、県内外を問わず年間40～50数回の公演をかさねています。

平成17年、児島瑜伽太鼓ジュニア部を開設、現在大人メンバーと共に活動しています。

昨年は、第19回日本太鼓ジュニアコンクールに岡山代表として初めて出場させていただき、特別賞を受賞することができ、メンバー一同大変喜んでいました。

この度、2度目の出場が決まり、メンバー一同一丸となり練習に取り組んでいます。

どうぞよろしくお願いします。

56 じょうしゅう しん とう たい こ 上州榛東ふるさと太鼓

群馬県



演奏曲

そう しょう
奏 翔

代表者: 富澤 孝

反町 蘭子 / 岩倉 翔吾

阿久沢桃花 / 中林 心

下山虎汰郎 / 下山賢士朗

西山 愛真 / 石澤 佑季

中林 愛可 / 神垣 海音

阿久沢立聖 / 宮島 弘成

近藤 楓我

上州榛東ふるさと太鼓は、ふるさと創生事業の一環として、また村の活性化及び伝統文化の継承を目的に平成2年に発足しました。その後、青少年健全育成及び後継者育成を目指し平成11年度にジュニアチームを発足し、毎週水曜・土曜の夜練習を行っています。

村内外での演奏活動の機会も増え、子どもたちにとっては大きな励みになっているとともに、演奏させていただくことに対し、日々感謝しているところです。子どもたちには、技術的・精神的な向上だけでなく、子どもなりに太鼓を通して社会性も育めればという願いも込め、練習に励んでいます。まだまだ未熟なチームではありますが、本日は練習の成果を存分に発揮し、悔いの残らない演奏を目指し最後まで精一杯頑張ります。

57 あそびっ鼓組 “遊”

青森県



演奏曲

きょうしゅう

郷愁

ひび

ねぶたの響き

代表者：豊川 悦子

坂本 光翼／山内 里華

豊川 愛彩／町 悠斗

河村 泰翔／佐藤 奏奈

熊谷 うた

私たちは、青森県八戸市を中心に日本の伝統文化の継承・他を思いやる心や協調性を養うなど「青少年の育成」を目的として活動して以来13年になります。中学生・小学生が各種イベントなど多くの方々との関わりを大切にしながら地域ならではの伝統的な祭りに触れる事は子ども達の更なる目標にも繋がり将来の「心の財産」となる事を期待しています。今回も青森県の代表的なお祭りを笛と太鼓で表現します。

58 金沢学院高等学校 和太鼓部「暁」

石川県



演奏曲

れっ か
烈火

代表者：平野 恒男

高田 奈果／小田 新汰

谷口 綾／人羅 優実

朝倉 佑名／上野奈央莉

松崎 光里／諸冶 美恒

山岸 悠馬

私たち、金沢学院高等学校和太鼓部「暁」は平成21年に創部し、地域のお祭りや教育機関、社会福祉施設で演奏しています。

「烈火」は5年前に作曲され、メンバーによって編曲を重ねてきました。

私たちの熱い気持ちをこの一曲に込めて、精一杯演奏します。



演奏曲

ほう ねん さい
豊年祭

代表者：古庄 マルセロ 慶治

金子 ルイザ 早百合

金子 エジソン 健二

広瀬 チアーゴ 清幸

中原 エメルソン えいじ

西川 ガブリエラ ゆかり

古庄 モニカ まゆみ

山下 フランシーネ ゆり

古庄 ニナ 雪絵

徳久 竜馬

古庄 ロドリゴ 幸治

西川 カミラ 礼子

古庄 エドアルド 正男

コロニア・ピニャールはブラジルにある40世帯ほどが集まって暮らしている小さな日本人村です。日本語学校へ通ったり、太鼓をしたりと、私たちは日本文化に囲まれて育ってきました。

飛翔太鼓は、2003年7月に設立しました。設立当初、太鼓が3基しかなかったため、孟宗竹を使って練習していました。村の人に助けられ、少しずつ太鼓を打つ喜びが大きくなり、「日本へ行く」という夢が生まれました。飛翔太鼓が2014年、2016年と日本の大地を踏んだ時の感動を忘れられません。そして、ジュニアコンクールを終えてブラジルへ帰って来た時の成長ぶりに後輩たちは圧倒され、更なる憧れを抱きました。

今回の私たちのテーマは「豊年祭」です。コロニア・ピニャールは作物豊かな土地です。1年を通してたくさんの果物がとれます。この曲は村の活気溢れる祭りの楽しさを表現しています。私たちは、愛情を注いで作物を育ててくれている村人への感謝の気持ちと、神様に今年も豊かな実りの年になるようにお願いします。

今年チームとして3度目の「日本」が叶えられました。世界をかけめぐり大空に羽ばたく、「飛翔太鼓」。みんなで力を合わせ一羽の鳥のように絆をもって羽ばたいてきたからこそ、夢を叶えることができましたと思います。日本の大舞台では、ぜひ、私たちの絆の強さを太鼓で奏で、日本の方や今まで応援してくれた人の心の中で響かせたいです。

60

あん での せん たい こ だん

安徳笙太鼓團

台湾



演奏曲

すばる
昂

代表者：戴慧菁

曾榮翔／高敬堯

楊逸霖／陳欣柔

陳以芯／陳大器

王威皓

桃園安徳笙太鼓團は2002年設立、2歳から大人までが太鼓の練習をしております。いつも情熱をもちながら一生懸命、真面目に太鼓の練習に励んでおります。そして、台湾太鼓協会主催、年に4回ある長谷川先生指導の合同練習や毎年7月台湾にて行われる日本太鼓基本講座の講習会にも積極的に参加し、持続する、努力するという太鼓精神を学びました。

2013年第4回台湾太鼓ジュニアコンクールにて台北演奏家聯盟特別奨受賞、2015年第6回台湾太鼓ジュニアコンクールにて全九州太鼓連合会特別奨受賞、2017年10月第8回全台湾太鼓ジュニアコンクールにて優勝致しました。メンバー達は感謝の気持ちで、更に努力し続けます。

この度台湾代表として石川県にて、第20回日本太鼓ジュニアコンクールに参加できることをとても嬉しく思います。この機会に沢山の太鼓仲間と交流し、お互いに学習し、自分の視野も広げられると思います。

台湾太鼓協会の王妙涓理事長と長谷川先生には、10年に渡りご指導していただきました。いつも励ましていただき感謝いたします。また、この舞台を下さった日本太鼓財団塩見理事長をはじめ、大澤常務理事と財団の皆様に厚くお礼を申し上げます。

特別出演

ブエノスアイレス太鼓^{だいこ}

アルゼンチン



演奏曲

とう とう 到 頭

代表者: 柴口カロリーナ・アンドレア
兼島 ミカ・アレクサンドラ
パルド・モラ
塚田伊芸イリーナ・愛美
カルドーソ・スレイマン・アブリール・ナイル
親川 ロミーナ
チェン・アナリア・ドラ・エリサベツ
上木 アブリアル
アモリン・ミチエール
玉置 ホアキン

ブエノスアイレス太鼓ジュニアチームは日亜学院文化センターの文化講座のひとつとして2011年に始まりました。

当初は学院のバザーや日本文化イベントなどで日本の代表的な伝統文化である太鼓を発表していましたが、やがてお祭や盆踊りなどの他の日系団体のイベントに参加したり、他校から招待されて演奏をするようになりました。

講座が始まったときはまだ8～11歳であった子どもたちが今日にいたるまで熱心な練習を続けています。太鼓教室は単に太鼓の打ち方を教えるだけでなく、伝統芸術の持つ姿勢や礼と節を身につけるしつけの場所ともなっています。

2015年、長野県で行った第17回日本太鼓ジュニアコンクールに初めて参加させて頂き、その時から一生懸命アルゼンチンで日本太鼓の技術向上という目標に向かっていきます。

特別出演

わ だい こ 和太鼓たぎり

福岡県



演奏曲

キリクサン

代表者：植田 美紀

植田晃太郎／山田 花梨
松田 伊織／倉智 聖梨
松田 梨花／長副祭之路
仲島 海斗／廣木 聖大
長副 萌／黒土 陸斗
熊谷 和花／河端 悠莉
岩崎 愛也／岩崎 聖羅
白本 鈴乃

太鼓たぎりは福岡県糸田町に伝統文化の伝承・普及・地域の活性化を願い2009年に結成されました。糸田町には『泌泉の坪』があり、この坪から脈々と湧き出る清らかで勢いのある水源のようにありたいと命名いたしました。

今回演奏します『キリクサン』という曲は、映画『青春の門』でも知られる香春岳^{かからだけ}そびえる“炭都筑豊”の炭鉱夫達の気質や生き様を表現した曲です。『キリクサン』とは明日の命さえわからぬ炭鉱夫達の中で、最も尊敬された“真のやま男”の名称です。

“炭都”に生きた炭鉱夫達の壮絶な生き様を、和太鼓の楽曲を通じ、少しでも皆様に伝え表現できればと心から願っております。

和太鼓たぎりは、昨年3月19日兵庫県神戸市で開催された「第19回日本太鼓ジュニアコンクール」(予選参加522チーム、5,506名)で、見事優勝に輝きました。

開催実績

■ 自治大臣杯第1回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団補助事業)

1999年3月21日(日) サンアリーナ川北(石川県能美郡) 出場団体34団体(29都道府県)
優勝: 共栄太鼓風雅(石川県)

■ 自治大臣杯第2回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団補助事業)

2000年3月19日(日) 松任市総合運動公園文化体育館(石川県松任市) 出場団体34団体(29道府県)
優勝: 天城連峰太鼓(静岡県)

■ 総務大臣杯第3回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2001年3月25日(日) 岡谷市文化会館カノラホール(長野県岡谷市) 出場団体33団体(29都道府県)
優勝: ゆふいん源流少年隊(大分県)

■ 総務大臣杯第4回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2002年3月24日(日) 郡山ユラックス熱海(福島県郡山市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第5回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2003年3月22日(日) 山梨県立県民文化ホール(山梨県甲府市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣奨励賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2004年3月21日(日) 羽島市文化センター(岐阜県羽島市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)
文部科学大臣奨励賞: 天城連峰太鼓(静岡県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第7回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2005年3月20日(日) 神奈川県立県民ホール(神奈川県横浜市) 出場団体40団体(33都道府県)
優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣奨励賞: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2006年3月19日(日) まつもと市民芸術館(長野県松本市) 出場団体41団体(34都道府県)
優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2007年3月25日(日) 京都会館第一ホール(京都府京都市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
文部科学大臣賞: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)

■ 総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)

2008年3月23日(日) 松任総合運動公園体育館(石川県白山市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 橋太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第11回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2009年3月22日(日) アクトシティ浜松(静岡県浜松市) 出場団体43団体(32都道府県)

優勝：太鼓研修センター「響」(宮崎県)

準優勝：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第12回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2010年3月21日(日) 大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市) 出場団体47団体(35都道府県)

優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞：山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)

■ **第13回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2011年8月13日(土) 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市) 出場団体45団体(34都道府県)

優勝：ZENKAI太鼓「和」(大分県)

準優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

文部科学大臣賞：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第14回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2012年3月25日(日) ベイシア文化ホール(群馬県前橋市) 出場団体46団体(33都道府県)

優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

準優勝：源流はさま太鼓(大分県)

文部科学大臣賞：熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本県)

■ **第15回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2013年3月24日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体49団体(35都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

準優勝：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞：葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第16回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2014年3月23日(日) 郡山市民文化センター(福島県郡山市) 出場団体53団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：岩代国郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)

準優勝：天祥太鼓團(台湾)

文部科学大臣賞：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第17回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2015年3月22日(日) ホクト文化ホール(長野県長野市) 出場団体54団体(36都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞：葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第18回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2016年3月20日(日) iichiko総合文化センターグランシアタ(大分県大分市) 出場団体51団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

準優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞：コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)

■ **第19回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2017年3月19日(日) 神戸国際会館こくさいホール(兵庫県神戸市) 出場団体56団体(37都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞：橘太鼓響座「一」(宮崎県)

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年 4月 1日

＜資 産＞ 基本財産 3億円

＜加盟支部数＞ 45支部(41都道府県)

＜加盟団体数＞ 約700団体

＜会 員 総 数＞ 約20,000人

＜役 員＞

会 長	松本 英昭	(一社)地方公務員共済組合協議会会長
副会長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
理事長	塩見 和子	(公財)日本音楽財団会長
常務理事	大澤 和彦	常勤
理 事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事	大宅 映子	評論家
理 事	島津 久永	(公財)山階鳥類研究所顧問
理 事	中西 由郎	(公財)日本ゲートボール連合専務理事
理 事	山内 強嗣	(社福)富岳会理事長

＜評 議 員＞

評議員	大竹 英雄	(公財)日本棋院顧問(名誉碁聖)
評議員	岡田 知之	(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	北村 汎	元駐英大使
評議員	佐藤 淳子	(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長
評議員	濱田麻記子	(株)林原チャンネル代表取締役社長
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評議員	渡辺 貞夫	音楽家

＜監 事＞

監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

2018年度の主な事業活動予定

■ 第22回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2018年5月31日(木)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：一般社団法人日本賢人会議所
出演団体：6団体程度

■ 第3回大学太鼓フェスティバル

期 日：2018年8月30日(木)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：15団体程度

■ 第20回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2018年10月7日(日)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：30団体程度

■ 第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」

期 日：2018年10月14日(日)
場 所：J：COMホルトホール大分(大分県大分市)
主 催：文化庁、大分県、大分市、(公財)日本太鼓財団ほか
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部、大分県太鼓連合
出演団体：35団体程度

■ 第2回日本太鼓フェスティバル「浅草太鼓祭」

期 日：2018年11月3日(土・祝)
場 所：隅田公園山谷掘広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■ 第15回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2018年11月25日(日)
場 所：白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

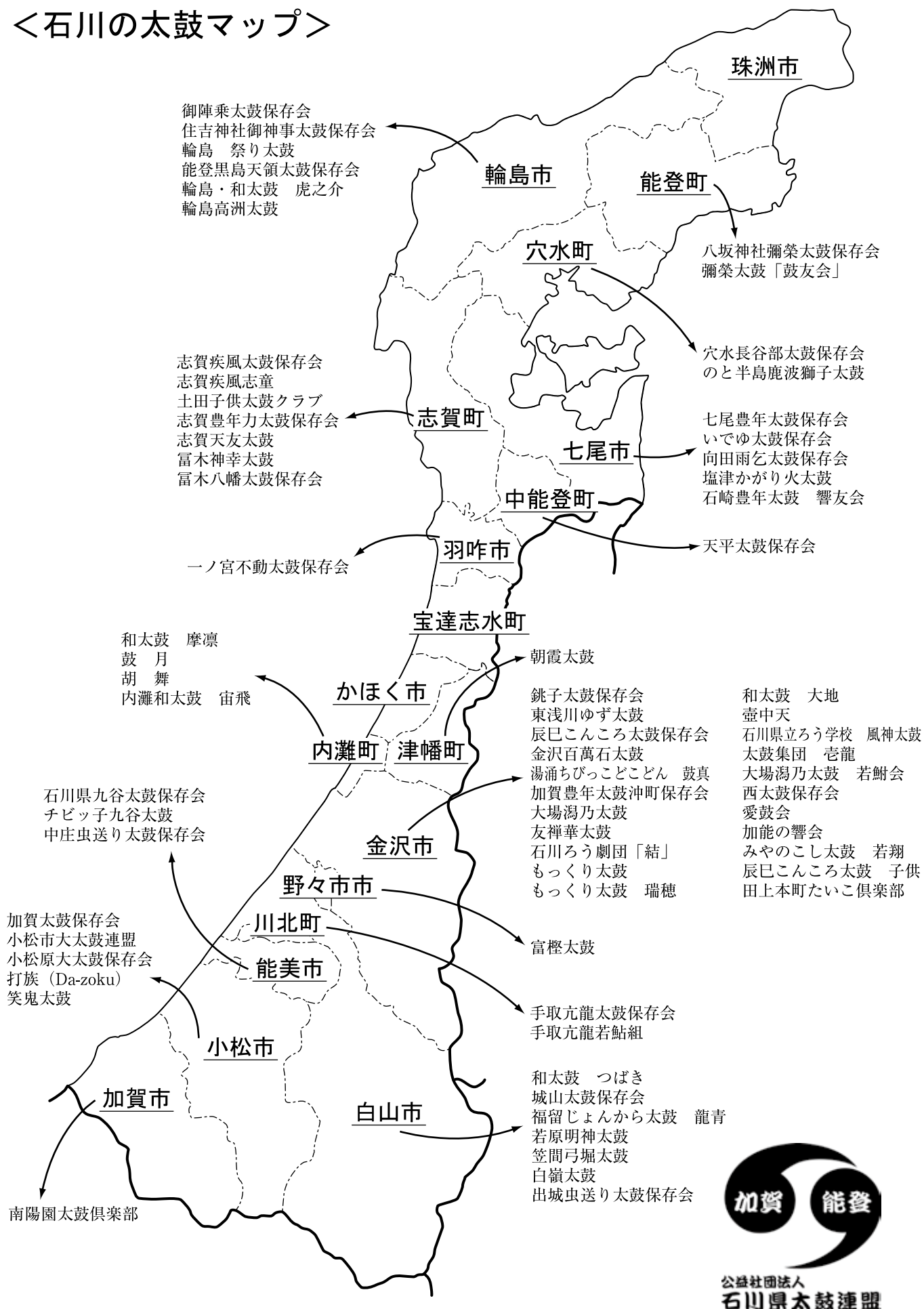
■ 第21回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2019年3月24日(日)
場 所：郡山市民文化センター(福島県郡山市)
主 管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
出場団体：60団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業) 日本太鼓全国講習会

第62回日本太鼓全国講習会 2018年6月2日(土)・3日(日) 群馬県藤岡市
第63回日本太鼓全国講習会 2018年9月22日(土)・23日(日) 愛知県西尾市
第64回日本太鼓全国講習会 2019年2月16日(土)・17日(日) 熊本県宇城市

<石川の太鼓マップ>



あらゆる旗のご用命は、誠実と信頼の当店へ！

各種旗・幕・のぼり・裨天・トロフィ
カップ・楯・腕章・記念品・製造販売

旗屋

〒920-0902 金沢市尾張町 1-9-17
TEL.(076)262-1155 (代) / FAX.(076)261-0460



ひとつひとつ手作りの味にこだわり、お母さんの心でお作りしております。

いつでも、どこでも



本社／金沢市いなほ 2-4
TEL : (076) 240-4569
FAX : (076) 240-4844
<http://www.shibazushi.jp>



金沢石亭の
歓送迎会プラン

会席プラン
お1人様 / ¥8,000 ~

しゃぶしゃぶプラン
お1人様 / ¥8,000 ~

金沢 石亭

金沢市広坂 1-9-23 (金沢歌劇座隣り)

TEL (076) 231-2208



古都の風雅と現代が会う
おもてなしの空間



金沢 東急ホテル

〒920-0961 石川県金沢市香林坊 2-1-1

Tel 076-231-2411 (代表)

<https://www.kanazawa-h.tokyuhotels.co.jp>

一期一(縁)のおもてなし。



ホテル日航金沢

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1
(JR金沢駅兼六園口)

TEL.076-234-1111

祝

第20回日本太鼓ジュニアコンクール



手取亢龍太鼓保存会

身近なニュースが
私たちをつないでいます。

北國新聞 富山新聞



北國新聞社

金沢本社／〒920-8588 石川県金沢市南町2-1 番号案内 076(263)2111
富山本社／〒920-8588 富山県富山市大手5-1 番号案内 076(491)8111
E-mail／koho@hokkoku.co.jp

魁さきがけの誇りほり

オリジナル座金および鉤 意匠登録第1242921号

意匠登録第1242921号。浅野太鼓の顔ともいえる太鼓座金と上鉤のデザインについて、特許庁の意匠原簿に登録された番号。今では多くの太鼓メーカーが類似したデザインを用いていますが、かつては実用一辺倒で菱形の鉄板に細い鉄輪を取り付けただけの貧相な座金を、現在のように装飾性豊かで、しかも格調高いオリジナルデザインとした魁は、浅野太鼓なのです。

昭和40年代、石川県松任市（現在の白山市）在住の刀匠で人間国宝の隅谷正峯氏（1921-1998）のアドバイスを受け、刀の鐔の意匠にヒントを得て考案した独特のデザイン。吉祥文様の一つで「いかなる困難も克服し、未来永劫にわたって栄える」との意味を持つ唐草模様と、「高貴」を花言葉とする十二弁の菊花との組み合わせは、日本の伝統楽器を代表する和太鼓のエンブレムとして、もっともふさわしいデザインと浅野太鼓は考えています。

浅野太鼓楽器店はそのほか、これまで4度にわたって太鼓メーカーとして唯一「グッドデザイン賞」（公財）日本デザイン振興会）を受賞したのをはじめ、時代の求めに即応した新しい機能をもつ太鼓の開発や、完全オーダーメイドの太鼓製作など、つねに積極的に未来を見据えた太鼓づくりを行っています。すなわち「意匠登録第1242921号」は、浅野太鼓楽器店の技術力と開発力、そしてブランド力を証明する誇りの番号でもあるのです。

太鼓の里  浅野

創業慶長14年(1609)

株式会社浅野太鼓楽器店

石川県白山市福留町587-1 〒924-0051 TEL 076-277-1717 FAX 076-277-2228
URL <http://www.asano.jp> E-mail taiko@asano.jp

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関することだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。

 **0120-331-531**

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索 



〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2
Tel (03)6229-5577 Fax (03)6229-5580
URL : <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp